

秋田県埋蔵文化財基準資料

縄文時代土器集成 I (後期)



2013.3

秋田県埋蔵文化財センター
Akita Archaeological Center

シンボルマークは、北秋田市浦田白坂（しろざか）遺跡
出土の「岩佩」です。
縄文時代晩期初頭、1992年8月発見、高さ7cm、凝灰岩。

秋田県埋蔵文化財基準資料

縄文時代土器集成 I (後期)

2013.3

秋田県埋蔵文化財センター
Akita Archaeological Center

刊 行 に あ た つ て

埋蔵文化財は国や地域の歴史と文化を知る上で重要です。そのため発掘調査が行われると、その調査結果をまとめた発掘報告書を刊行し、出土遺物は大切に保存されることになります。しかし、残念なことに多くの発掘調査は公共事業等の行政目的のために行うため、その調査が終了すると、遺跡は特に重要な遺跡でなければ残されることなく、次の発掘調査が控えているため、出土遺物を広域的に振り返って系統的に集約したり、各時期の特徴を概観する余裕を持てないまま進んできたように思います。したがって、ごく一部の出土遺物しか利用・活用が進んでおらないという思いがのこりました。

しかし、埋蔵文化財センターは開設されて30年を経過し、一定の調査結果は蓄積してきていると考えて、自分たちが手がけてきた遺跡の出土遺物を今後再整理し研究するためには、この段階で一応の集約しておく必要があると思いました。手始めに時期を世界遺産登録に係る大湯環状列石、伊勢堂岱遺跡と同時期の縄文時代後期と決め、多種多様な遺物の中から代表的な縄文土器を集め、その特徴的な器形や装飾を把握し、変遷が分かるように模式図に集約してみました。

これをもとに県内の縄文土器に関する基本研究が盛んになるとともに、多くの方々が利用くださり、より一層研究が進展して秋田の縄文土器の重要な指標が確立され、時期的・地域的特色が明らかになる土台になればよいと考えています。

平成25年3月

秋田県埋蔵文化財センター

所長 高橋 務

例　　言

- 1 本書は、秋田県埋蔵文化財センターが設立された昭和56年から平成24年までに発掘調査を実施した遺跡の縄文時代後期の土器を集成したもので、秋田県埋蔵文化財基準資料の1冊目である。
- 2 本書に掲載した土器には、市町村が調査主体で行った遺跡の土器は対象としていない。
- 3 本書に掲載した土器の図は、一部をトレースし直したものがある。また、縮尺は全て1/4に統一してある。模式図と図版中の土器番号は土器挿図の番号に倣っている。
- 4 本書に掲載した土器の図の出典(発掘調査報告書)は、末尾の表に載せている。
- 5 掲載土器一覧表の双書番号とは、秋田県文化財調査報告書双書番号のことである。
- 6 本書の編集は、秋田県埋蔵文化財センター職員からなる秋田県基準資料集成委員会が行った。
委員：柴田陽一郎　高橋忠彦　榮一郎　栗澤光男　小徳晶
- 7 本書を作成するにあたり　次の機関から協力をいただいた。記して感謝申し上げます。
秋田県立博物館　美郷町学友館　横手市増田まんが美術館

目　　次

刊行にあたって

例　言

目　次

I 概　要	1
II 後期の土器	5
III 変遷模式図	41
IV 写真図版	49
V 掲載土器一覧表	57

奥　付

I 概要

本書に掲載した縄文時代後期の土器は253点で、北秋田市の漆下遺跡や伊勢堂岱遺跡などに優品がみられるが、県内全体を見渡すとこれら遺跡の他にも、県南では横手市の越上遺跡や八木遺跡、江原嶋1遺跡、沿岸部ではヲフキ遺跡、智者鶴遺跡、北部では上記2遺跡のほか、小坂町の中小坂遺跡や鹿角市の高屋館遺跡などがあり、それらの土器も掲載している。

第37~40図の変遷模式図にも253点全てを収載している。この変遷図は、後期を大きく前葉と後葉に分けて、それに該当する土器を並べてあるが、あくまで概略であって、土器の縦軸がそのまま時系列どおりに並べてあるわけではない。

以下には、最も多い深鉢形土器を中心に土器の概要を述べる。

深鉢形土器（第1~18図1~89）

前葉の土器では、前半期に八木遺跡に好例をみることができる。C字状の文様とそれを縦に区画する隆帶上には刺突がみられ、それが3では縄文部が窓状に囲われ、それを隆帶で囲んでいる。文様帯は胴部上半に限られる。5のように無紋の頸部が表現され、3でもみられた口縁部の波状がさらに顕著になり、波頭部横からは胴部上半の刺突列を四角に囲む隆帶が垂下する。さくられ状の刺突は北陸の三十稻葉式につながる文様であろう。4の日廻岱B遺跡の土器は、狩猟文土器と考えられる。内面が壁によって区切られている特異な土器である。6・7の口縁部は二重口縁になり2とのつながりがみられる。6の文様帯はC字状文の名残りがあり、口縁部の波頭部と波頭部の間から5にみられる斜めに流れる隆帶がある。7~9の文様構成はC字状文が横に延び連結して器面全面を覆う。この段階の鉢形土器では、7・8の文様にみられる釣針状文が主体となる90~95の淺鉢形土器がある。口縁部は波状となり、釣針状文や縄文帯を弧状の向かい合う短沈線で結ぶ93などがある。江原嶋1遺跡や八木遺跡で出土している。11~13には縄文を地文にして胴部上半に低い波頭部に対応して2ないし3本の垂下する沈線で胴部上半を区画し、その中を向かい合う弧状の沈線が描かれる。11の口縁部の波頭部には円孔部を中心とする同心円状の沈線文がある。次の段階になると、14・15では地文を縄文とするのは変わらないが、垂下する沈線間の文様は線対称ではあるものの、14では瓢箪形の文様となる。15では垂下する沈線を斜行する沈線で結ぶ。地文を縄文にして垂下する沈線をこれも線対称とする弧状の沈線文が描かれる。

深鉢形土器16・17では波長部が5~7個の奇数になり、胴部文様帯は弧状の沈線で描かれ、18・19では、文様帯が上下の2段に分かれ、弧状の沈線と斜行する沈線で構成される。この段階の土器は漆下遺跡や伊勢堂岱遺跡で好例がみられる。20~24の文様構成は基本的には、前の11~13に描かれる沈線文のみが残され無文地に文様が引かれる。これらの土器は高屋館跡など北部に代表される。次の土器群も文様は胴部上半の限られ、25のように上下2段に文様構成が分けられる前段階の28を踏襲しながらも沈線の末端は丸くなり、29ではその末端が入り組む。39のような大型の深鉢では沈線間に縄文が充填され、沈線の末端は入り組み、文様も多段に施される。30~43は、緩やかな波状口縁を持ち文様帯は胴部上半に限られ、縄文帯が渦巻き状になるものや大きく蛇行しながらうねるように横に展開していく。前者の渦巻文は波状口縁の波頭部の位置に対応する。42・43の縄文帯は幾何学的になる。44~49の器形は前段のものと変わらないが、文様帯が胴部上半に狭まり、波状口縁部の波頭部が丸くなったり低くなったりと次の段階の50~54などの口縁部に近くなり、波頭部は4単位となる。特

に51や53のように口縁部が大きく外に開く土器もある。文様は縄文帯や縄文地文に無文帯が直線的に展開されるものあり、55・56では幅の広い縄文帯による入組文が胴部上半に展開する。57～66は胴部上半から大きく花弁状に開く土器である。57～59では4単位の花弁状の口縁部で胴部上半に数段の縄文帯を連鎖状の沈線が繋ぐ。60～61では、花弁状の口縁が大きく外に開き、文様帯は前者と同様である。62～66は5個の花弁が、直線的に立ち上がる胴部から大きく外に開き、口唇に刻みを持ち、胴部文様帯が縄文帯を連鎖状沈線で繋ぐものや、大ぶりな入組文が胴部の器面全体に描かれるものがある。67～71は台付深鉢になるものである。直径の小さな台部から直線的に口縁部に至る器形だが、口縁に3個の突起が付くものである。突起の形には69のように円筒形や71の鱗状のものなどがある。文様は、大ぶりな入組文が器面全体に展開する。72～75では口縁部が4あるいは5個による花弁状の大きく外に開く器形で、口縁部先端には縄文や刺突が施され、文様は縄文帯が弧状に展開する72や75、幅の広い縄文帯が入り組む73・74がある。この時期にはヲフキ遺跡にも多くの例が見られる。76～82は波状口縁や低い突起が付くもので、文様構成は前者と変わらない。

82の文様は、幾何学的な沈線で縄文部が画される。83～89は瘤付土器で後期終末に位置づけられる土器である。口縁部は平縁や低い波状86のように大きく花弁状になる土器がある。文様は多段の入組文が胴部上半に描かれるが、83や86のように、胴部下半には縄文や燃糸文を地文として、格子目状に沈線が施される。この段階の土器は、漆下遺跡のほか、湯沢市の堀ノ内遺跡、沿岸部の菖蒲崎貝塚、美郷町の石名館遺跡などにもみられ、ほぼ県内全域で出土している。

鉢形土器（第19～25図90～156）

7・8の文様にみられる釣針状文が主体となる90～95がある。口縁部は波状となり、釣針状文や縄文帯を弧状の向かい合う短沈線で結ぶ93などがあり、江原鶴1遺跡や八木遺跡で出土している。口縁部が4個の突起や波状口縁で、胴部には連鎖状やフック状の文様が描かれる。後期の初葉に位置づけられるこの浅鉢形土器の一群は、東北南部の影響が見て取れる。96～109は文様が沈線のみで構成される土器で、垂下する沈線間に弧状や斜行する沈線を施す96・97・101～103や、多段に入組文が描かれる106・107などがあり、深鉢形土器に対応する。

100は無文地に粘土紐を上下でかみ合うV字に貼り付けた土器で、他に類例をみないが、文様構成としては101や103と同様なのである。110～112は縄文を地文として沈線で斜行や弧状の文様が描かれる。波状や平縁の口縁で丸い胴部に最大径を持つ。115～116は沈線で文様が描かれ、文様間はS字状の沈線で繋がれる。114・115では重心の低く最大径のある部位に張り出す部分を作り出し、底に縱方向から孔を穿ち、紐を通すことで釣り手形の土器として使用したものと考えられる。

118～123は沈線か隆帯で文様を構成している土器で117・118は隆帯で四角く区切られる部分を作り出していて、120～124では沈線で文様を描き、入組状文や直線と弧状の沈線で表現される土器がある。123・124では底部外面にも沈線で胴部文様と同じ文様が描かれる。123・124は大館市の萩峰遺跡と塚の下遺跡から出土している。126～128では外に大きく開く波状口縁の波頭部に対応し横から走る縄文帯の入り組み部が付される。この段階で、157・158の小型の台付鉢形土器が現れ、文様は126～128などと同様の文様が描かれる。模式図では、161～165までの一群と157・158との間にヒアタスがあるよう見えるが、ほぼ同時期と考えられる。130・131などは幾何学的な縄文帯で文様が構成されるが、131の文様は深鉢45と同様の縄文帯がクランク状に描かれる。132～139では楕形をした器

形に横走する縄文帯を弧状の短沈線で繋いでおり、深鉢60・61などと同様な文様である。

この段階で151～153の片口の鉢形土器が出現する。丸みのある胴部から突き出るような片口部とそれと反対側では内側に瘤状の突起が付き大きく外側にせり出す。文様は153では全面に入組文風の文様が描かれ、151・152では口縁部に縄文が付される。出土例はそれほど多くはないが、151は漆下遺跡、152は越上遺跡、153は湯前遺跡から出土している。154は中小坂遺跡出土で口縁部の直径が60cmもある大型の鉢形土器である。直径12cm、高さ2cmの高台から胴部は大きく膨らみ、一度段を持ってそこから口縁が外に向かって開く。口唇には9個の鱗状の突起が付き、口縁部は無文で、胴部には大振りな入組文が描かれる。141～143の鉢形土器は、深鉢形土器の62・66・63などの文様と同じであるが、141は円筒形の器形で、胴部中央に幅の広い縄文帯で曲線的な文様が描かれる。144～149は、底部から丸く膨らみのある胴部、垂直に立ち上がる口縁にいたる器形で胴部の文様は144や145にあるように入組文や、150・148・149などに描かれる細い縄文帯が重なり合う文様が施される。

台付深鉢形土器（第26図157～170）

161～168はそれぞれ深鉢形土器73～77などに対応するが、162は沈線で同心円状の四角い文様を描く、またこの段階の台付鉢形には163のように、底面内面中央部に刺突文や縄文が施される土器がある。169・170では、口縁部にいくつかの突起を有し胴部には、77・82と同様な入組文やクランク状の文様が描かれる。167～171は瘤付き土器で後期終末期に位置付けられる。

壺形土器（第27～31図172～210）

172・173は八木遺跡出土で、縄文を地文として胴部上半に沈線で渦巻文を描く。173の口縁部には4個の橋状取手が付く。174は胴部にX字状に交差する沈線を数状引き、交差してできた4つの空間に楕円文や渦巻文などを描いており、鉢形土器109・120と同様な文様モチーフである。175・176・178・179は底部から丸く膨らみのある胴部、径の小さな頸部が付く。文様は胴部上半に限られ、数条一組の沈線によって入組文が描かれる。177・180～182は、底部から卵形の胴部、径の小さな頸部、わずかに外に聞く口縁部からなる器形で、胴部には隆帶でもって文様が描かれる。181では胴部を一周する連続する細長い窓によって上下2段に文様帯が分けられる。2段の文様は斜行する隆帶の末端が入り組むもので、182では、これも細長い窓を十字に配置することでできる空間に末端が丸く入り組む隆帶で表現している。180も文様は隆帶で表すが、前2者のように区画される広い空間ではなく、胴部を隆帶で細かく、区画している。204は伊勢堂岱遺跡出土の瓢箪形をした土器である。大小2段からなる胴部とそれに円筒形の頸部が付き、文様は下の胴部に沈線で楕円文が描かれる。191～190は球形の胴部上半に縄文帯による入組文や渦巻文が描かれる土器で、深鉢形土器の37や42などに共通する文様である。205・206は切断形の土器で、文様は177や180などに共通する。208～210では、下膨らみの胴部にアヒルの嘴状の片口が付く土器である。胴部には縄文が付され、上半から口縁部に末端が渦巻状となる縄文帯が走る。207では、洋梨形の胴部に片口が付き文様は深鉢形土器の文様と同様の直線的な縄文帯で描かれる。片口部分の造形は鉢形土器151～153に共通する。192～196は胴部中央部に最大径のある球形の胴部に大きく外に聞く口縁部のある器形で、胴部には入組文が描かれている。198～200のうち199・203球形の胴部に、入組文が199では縄文帯で、203では沈線で文様が付される。202は越上遺跡の土器で、低い高台が付く算盤形で、胴部中央部を矢羽根状の刻目列が一周す

る。201は寒沢遺跡出土で、細頸の一輪挿し状の壺である。全面に、交差する2条1組の沈線が施される。頸部下部に瘤の列が巡る。197・200の文様は深鉢形土器73・74などのそれと同様であり、貼瘤が付されている。

注口土器 (第32~35図211~241)

注口土器は、後葉前半期から多く出現していく。232・231はいづれも漆下遺跡のものである。径の小さな底部から大きく外に開く胴部を有する器形で、胴部上半に比較的大きな注ぎ口が付くが、どちらかと言えば片口の鉢形土器の範疇に含まれるものかもしれない。但し、片口部分が、口縁部の波長部から延びる隆帯が片口部を巻き込んでいて、片口部も文様を構成する一部であり、こうした点は小田IV遺跡の注口土器241の注口部が文様に取り込まれている文様構成と同様である。234~236は口縁部に装飾性の高い突起が付き、高台状の底部のあるもので全体の器形は232などと同様である。胴部の文様には数条1組の沈線が、V字状などの文様を描く。212・211・217はヲフキ遺跡出土で、小型の球形の胴部には沈線文のみで注口部を中心とする弧状文や入組文が施され、口縁部は低く立ち上がる。227・228の胴部には太い縄文帯で入組文風の文様を描き、227では頸部が一膨らみ、それに低い口縁部が付く。214・225・226では細い縄文帯が注口部を巻き込みながら、胴部全体に展開される。この文様構成は222や223などの彫刻的な沈線文様に受け継がれ、また224では縄文帯に代って数条1組の沈線文となる。229・230は、器而全面が丁寧に研磨され、前者は黄褐色を後者では黒色を帯びていて、胴部には大ぶりな半彫刻的な文様が施される。241は高台に丸く膨らみのある胴部、外に開く幅のある口縁部に至る器形であるが、小さい底部に比べて大きな胴部であるにもかかわらず、安定感のある器形である。胴部文様は入り組み風の縄文帯の末端が丸くなるメガネ状文様が胴部を巡っている。237・238は後葉の終末期の貼瘤のある土器である。

単孔土器 (第36図242~250)

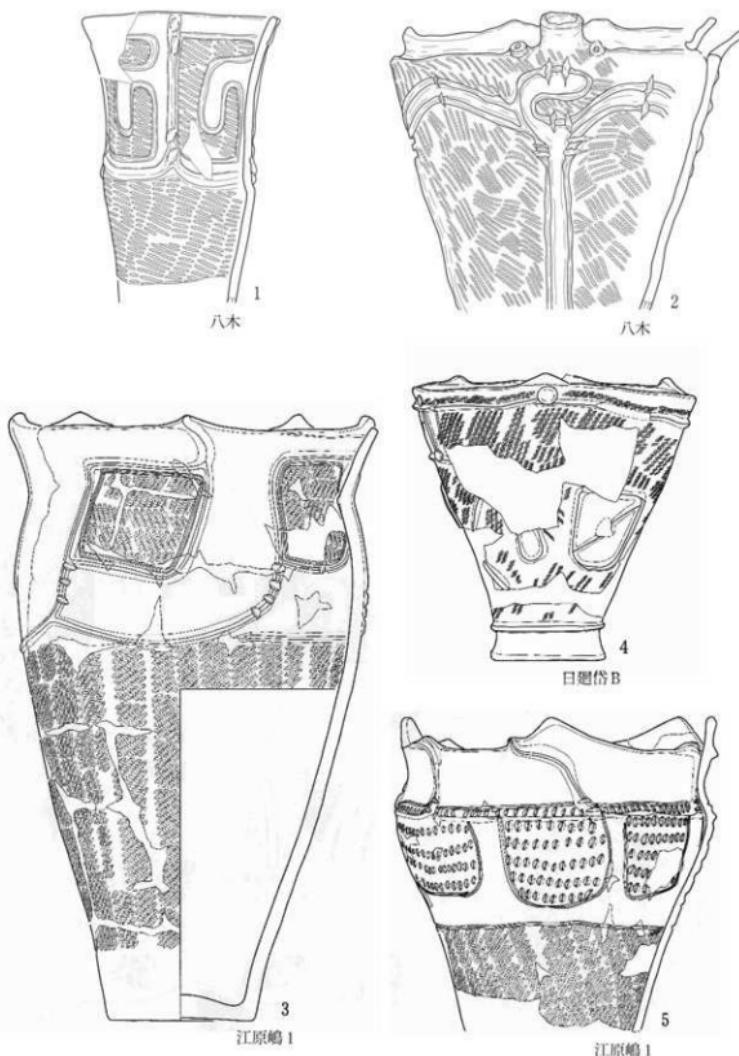
細身の壺形土器の胴部下端に小さな孔が穿たれる土器である。後葉に現れ、出土例は少ないが地域的には八木遺跡、智者鶴遺跡、日廻岱A遺跡、漆下遺跡、中小坂遺跡などほぼ県内全域から出土している。242・243・246・248・249は徳利形の胴部に僅かに外に貼り出す頸部、外に開く口縁部をもつ土器で、胴部文様帯は、縦の縄文帯に区画される242・243・249などがある。250は、由利本荘市の智者鶴遺跡出土で、細長い円筒形の胴部に低い口縁部の付く土器で、胴部文様帯は5段に区画され、中に入組文が描かれる。244・245・247は重心が胴部下半にあり、孔が前者よりも高い位置に穿たれ、文様も横走する縄文帯が表現される。

香炉形土器 (第36図251~253)

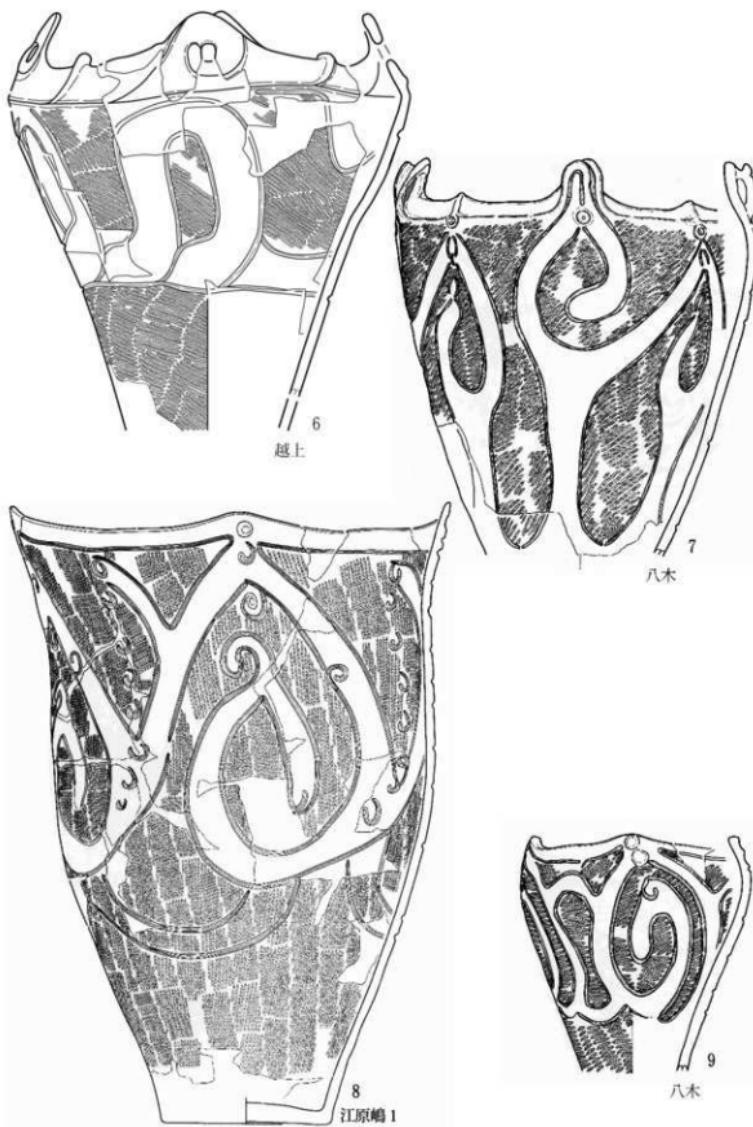
図示したのは3点であるが、漆下遺跡などからは他にも出土している。251は深鉢形土器56や71などの文様に類似している。252は貼瘤が付される土器である。

縄文時代後期の土器についてその概要を述べてみたが、後葉前葉前半期には県南部で八木遺跡や江原島1遺跡に前の時期の中期大木様式に続く土器を顯著に見てとれ、これに対応する県北の土器としては、伊勢堂岱遺跡や漆下遺跡で出土していることがわかる。次の前葉後半期には県北で鉢形土器や壺形土器など多様な文様と器種が豊富となり。次の後葉の花弁状の突起を有する深鉢形土器の段階で県内ほぼ同じような土器の変遷をとどり、次の晩期に繼承されることになる。

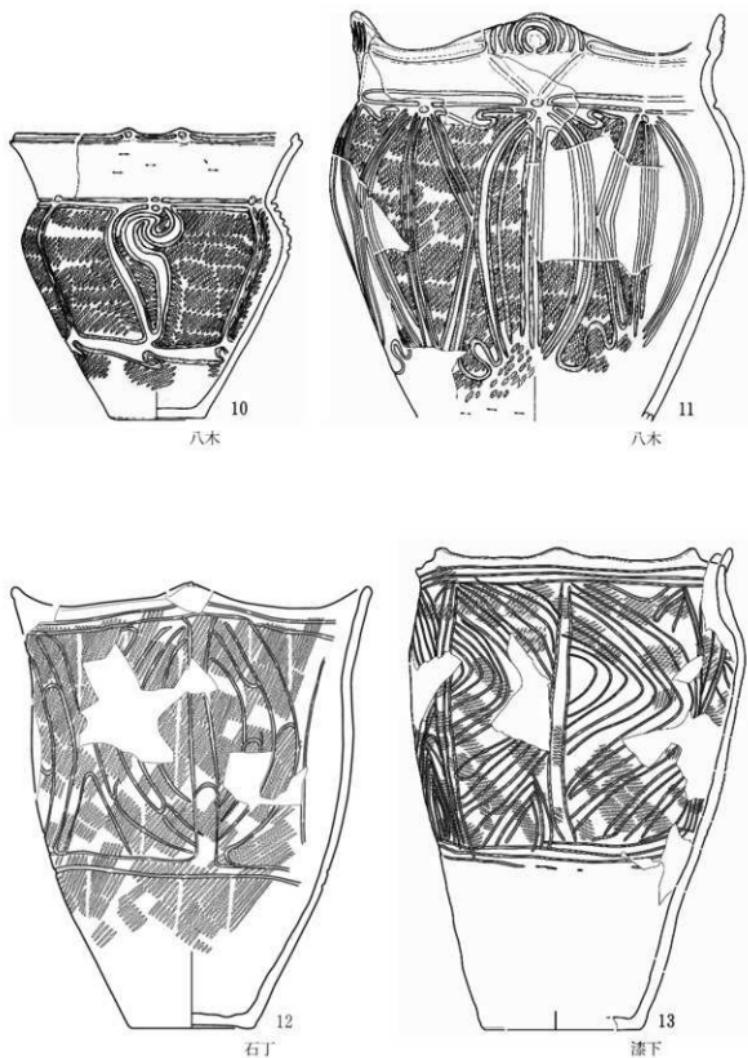
II 後期の土器



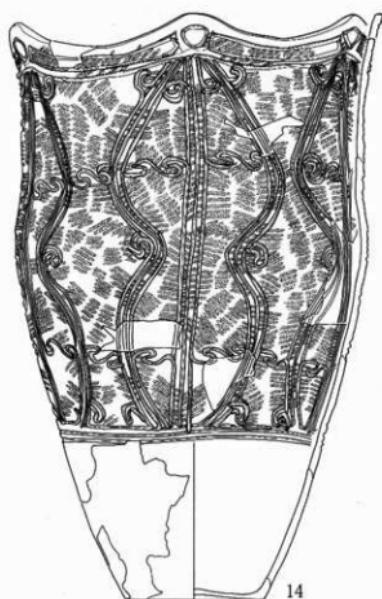
第1図 深鉢形土器 1



第2図 深鉢形土器 2



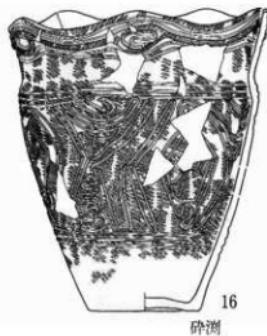
第3図 深鉢形土器3



伊勢堂岱



塗下

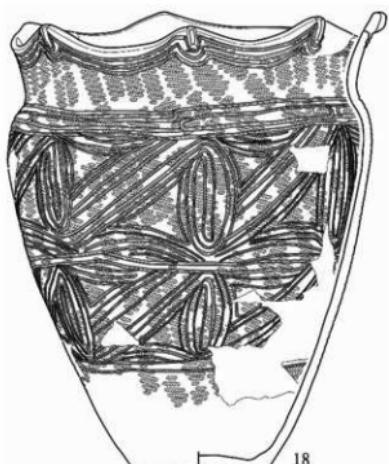


砂済



伊勢堂岱

第4図 深鉢形土器 4



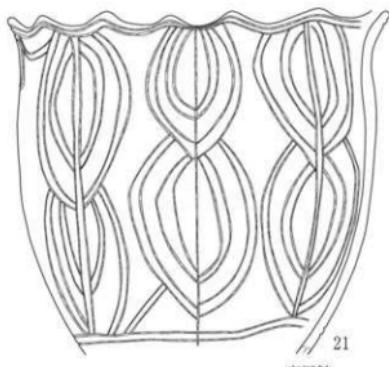
漆下



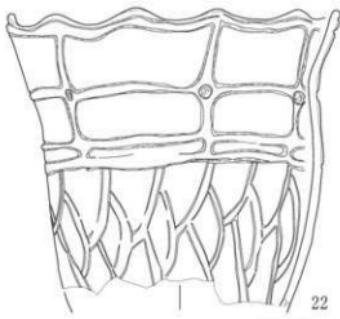
漆下



伊勢堂岱



高屋館

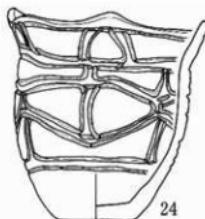


高屋館

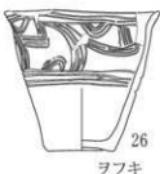
第5図 深鉢形土器5



23
高屋館跡



24
伊勢堂岱



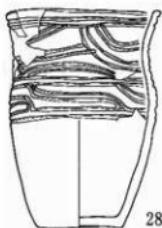
26
ヲフキ



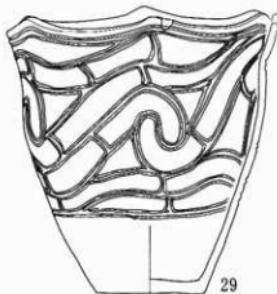
25
中小坂



27
湯ノ沢岱



28
伊勢堂岱



29
伊勢堂岱

第6図 深鉢形土器 6

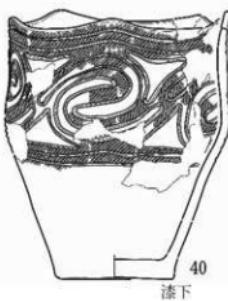


第7図 深鉢形土器 7



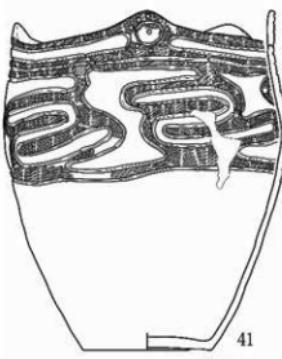
39

伊勢堂岱



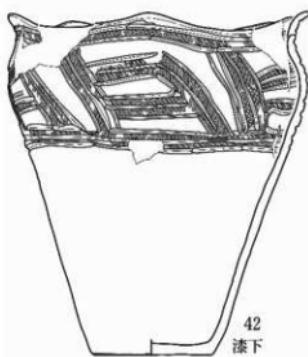
40

漆下



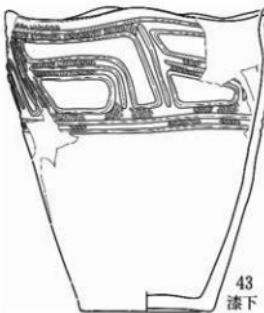
41

漆下



42

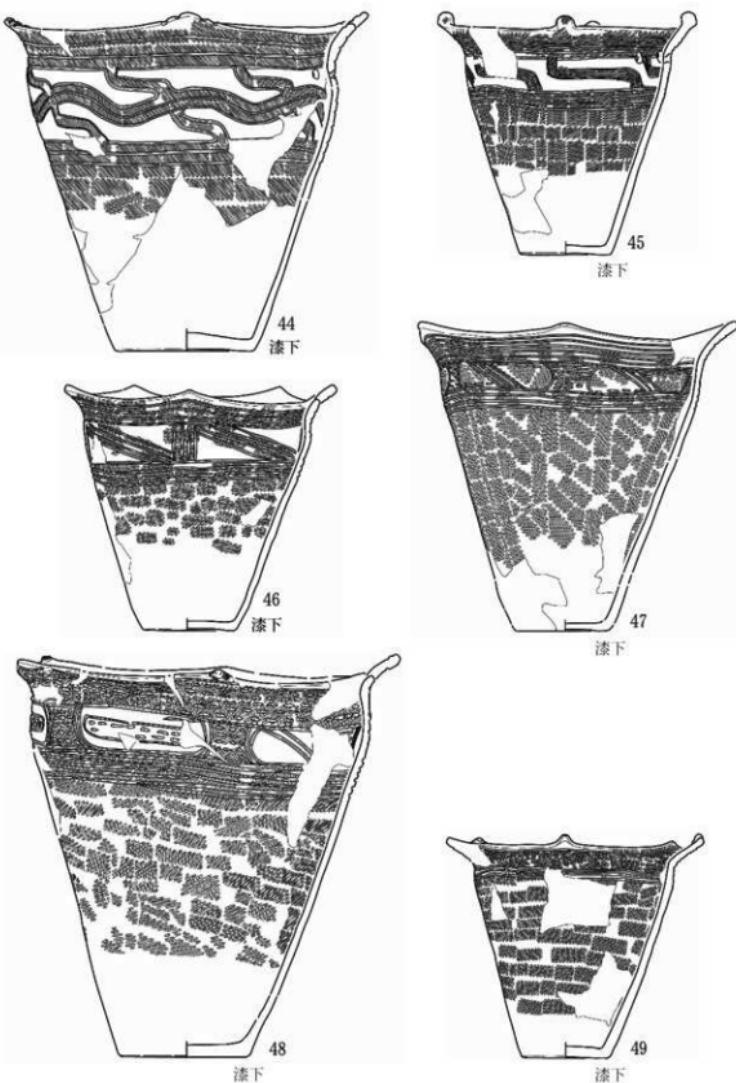
漆下



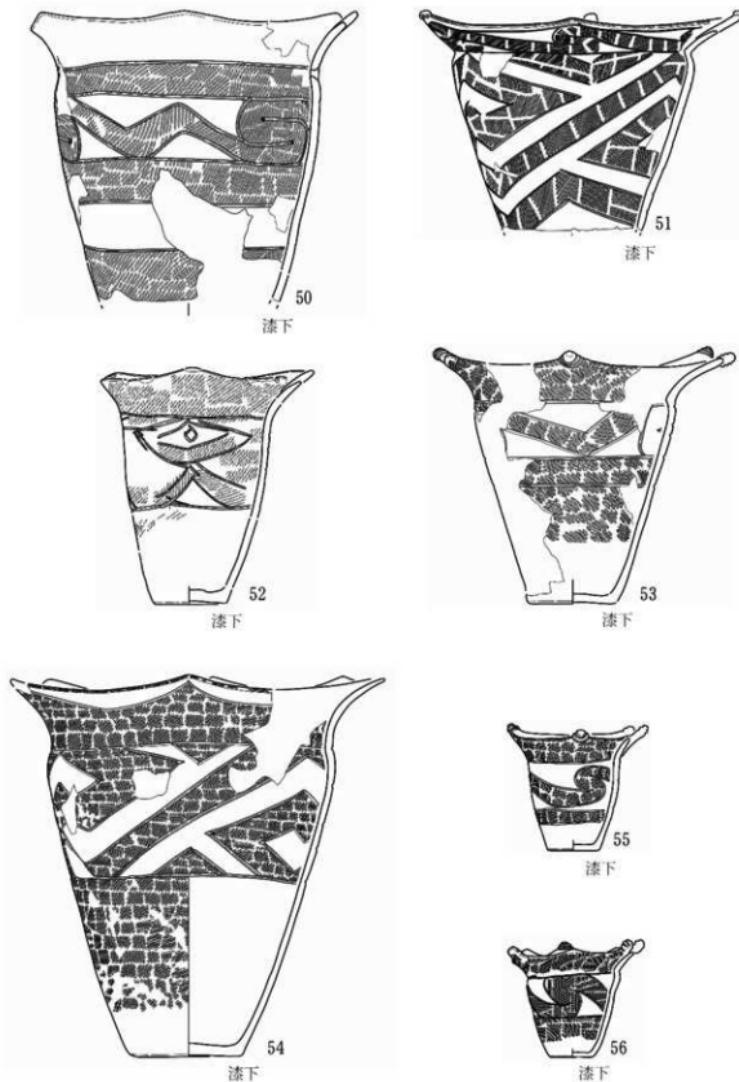
43

漆下

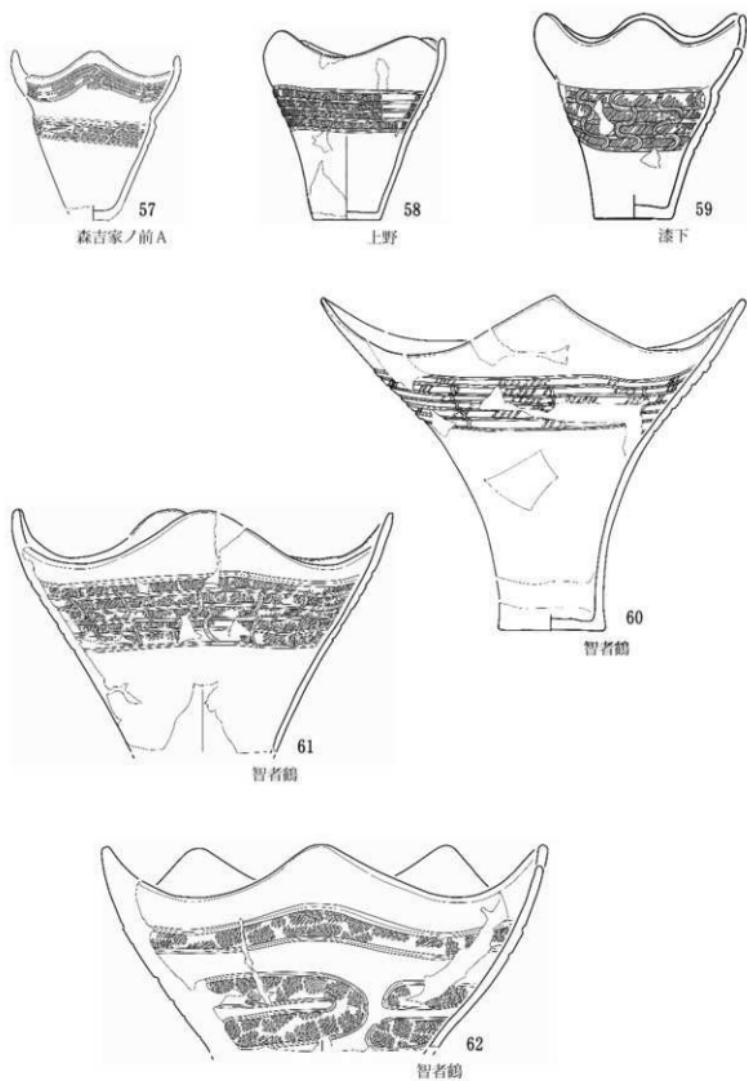
第8図 深鉢形土器 8



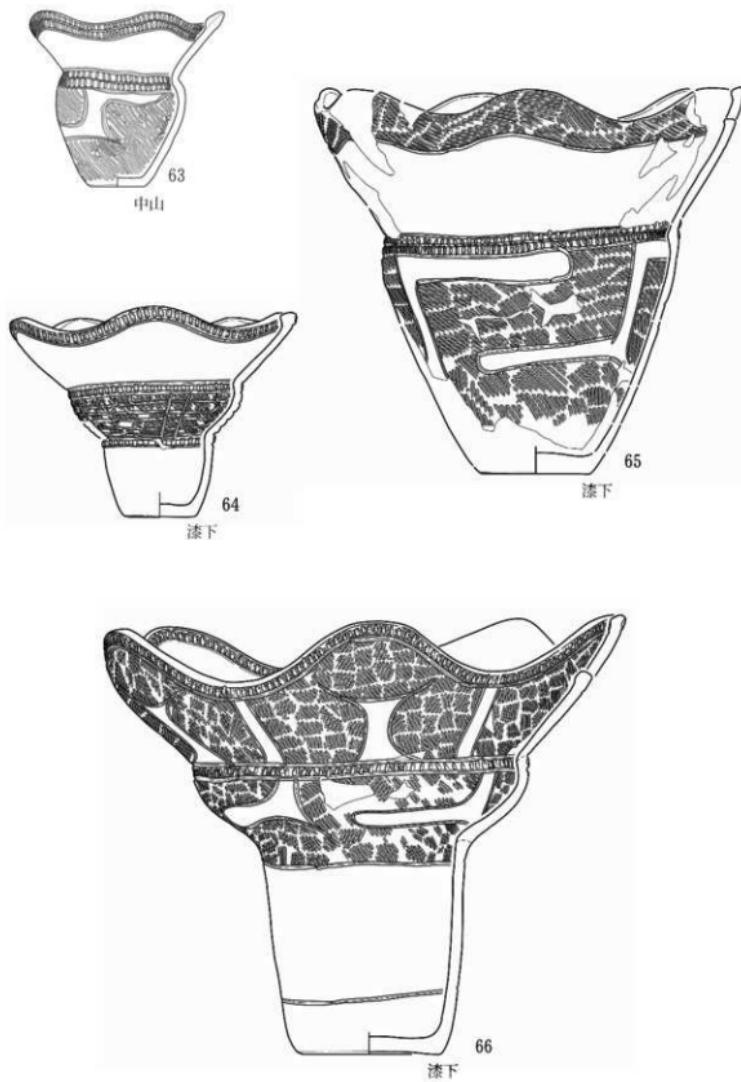
第9図 深鉢形土器 9



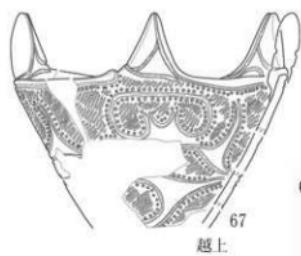
第10図 深鉢形土器10



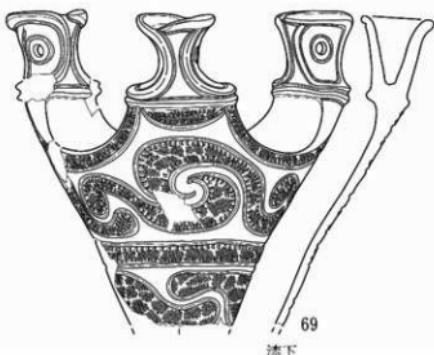
第11図 深鉢形土器II



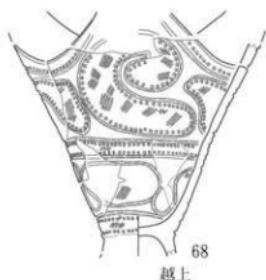
第12図 深鉢形土器12



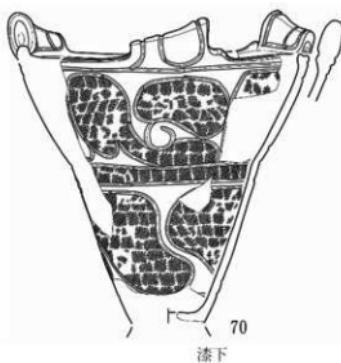
越上



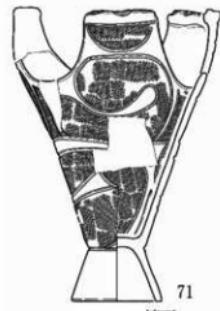
漆下



越上

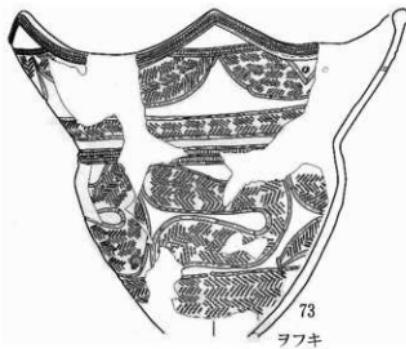
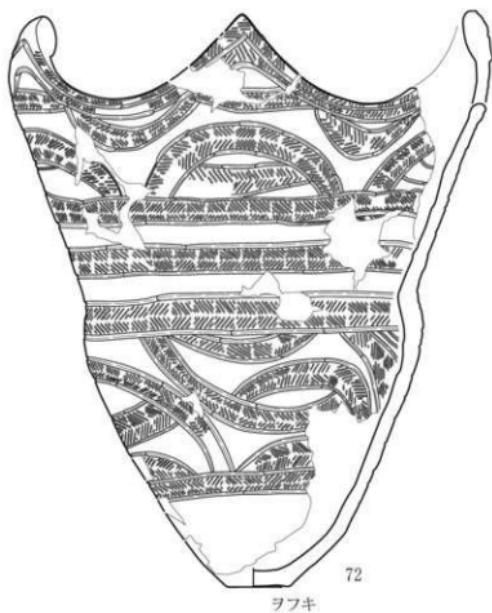


漆下

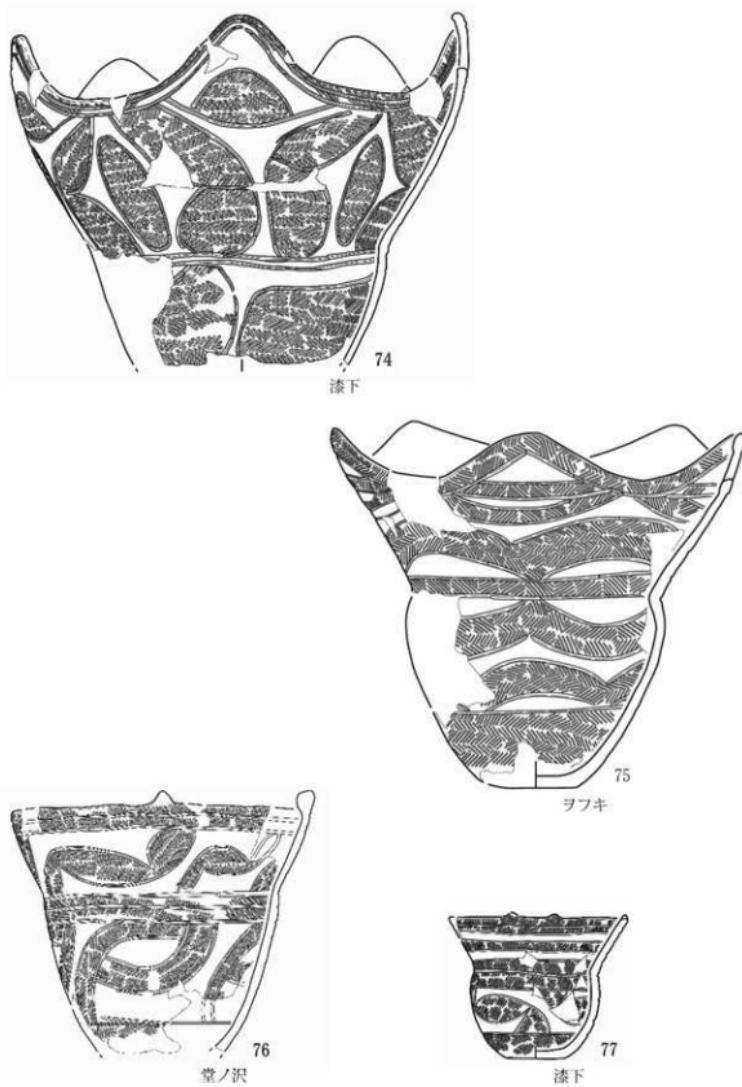


漆下

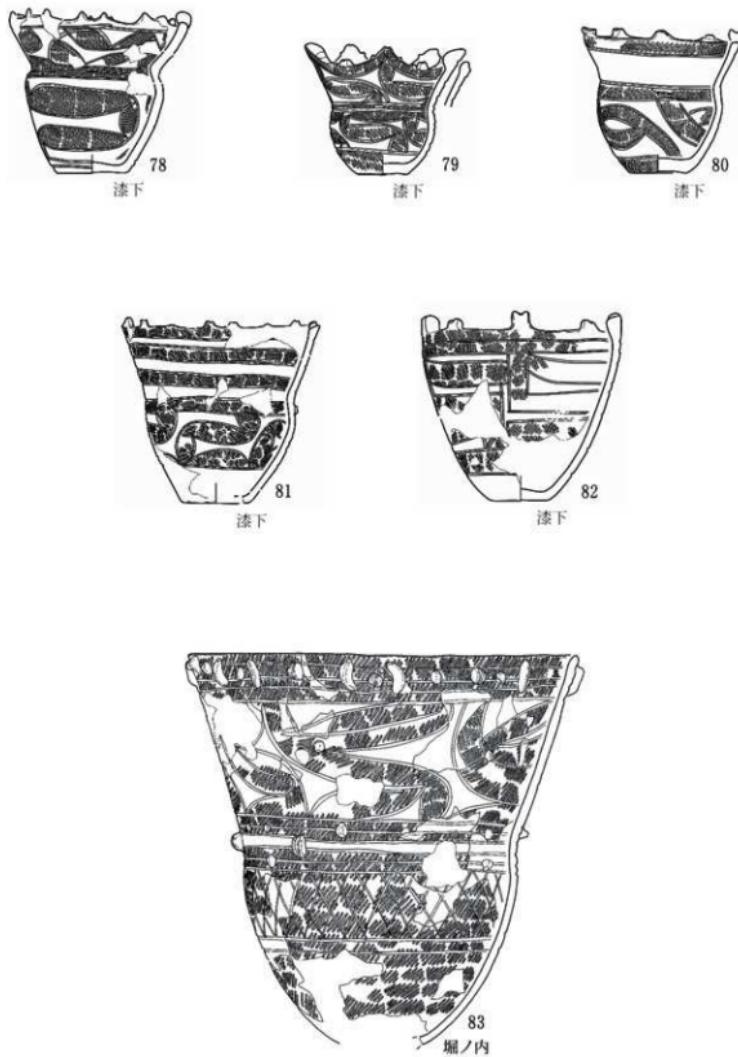
第13図 深鉢形土器13



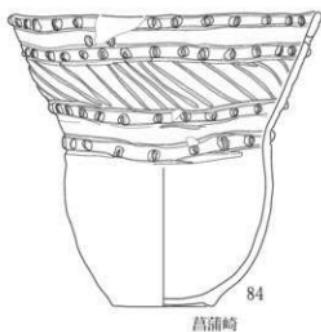
第14図 深鉢形土器14



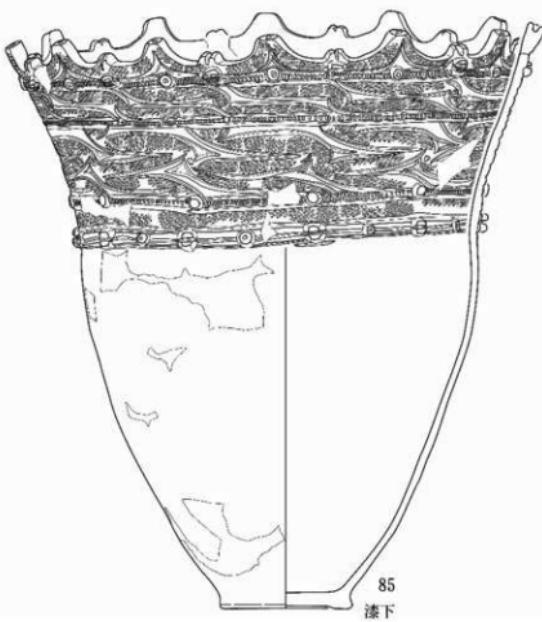
第15図 深鉢形土器15



第16図 深鉢形土器16

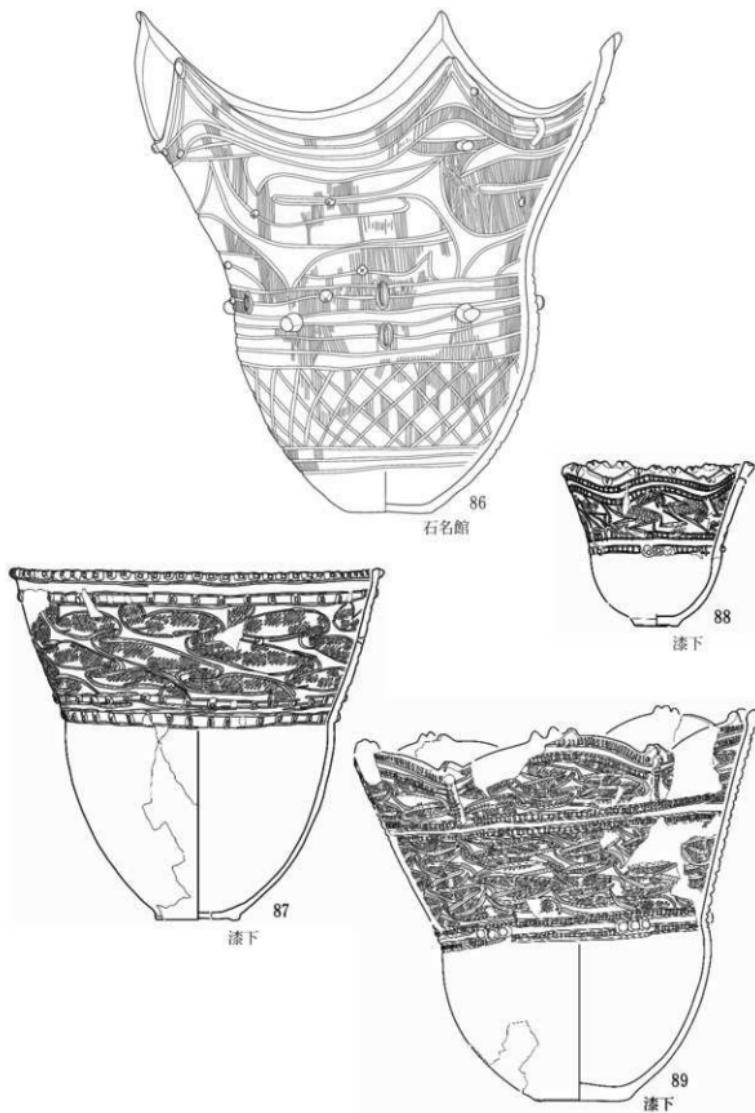


菖蒲崎

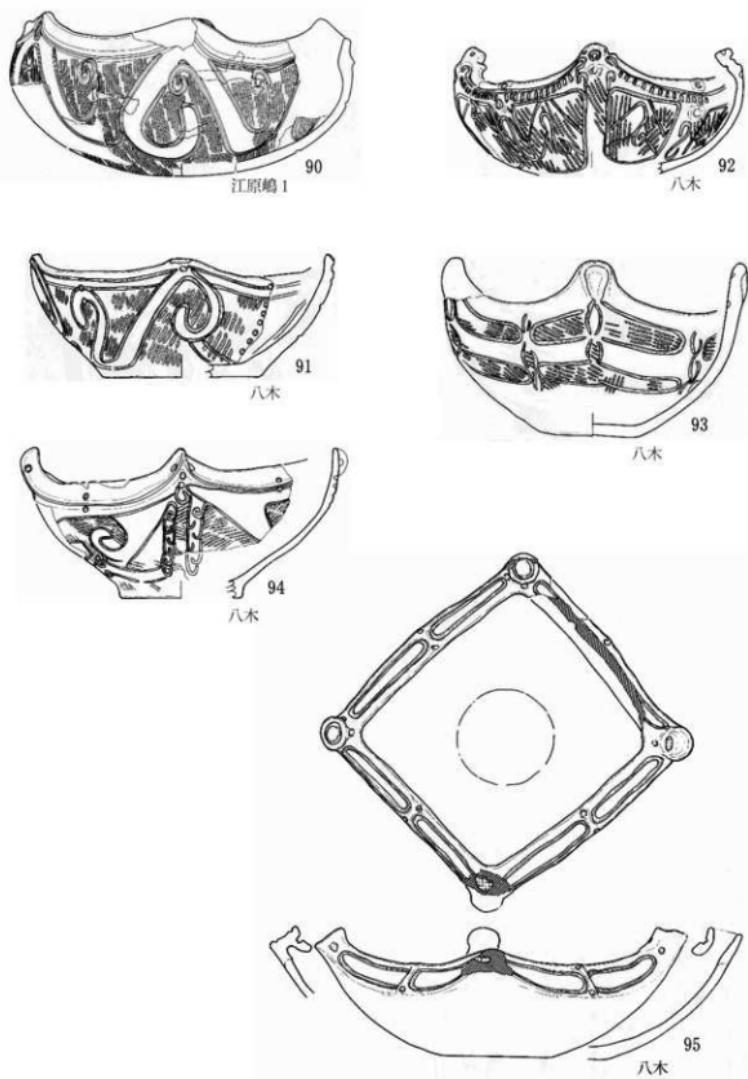


漆下

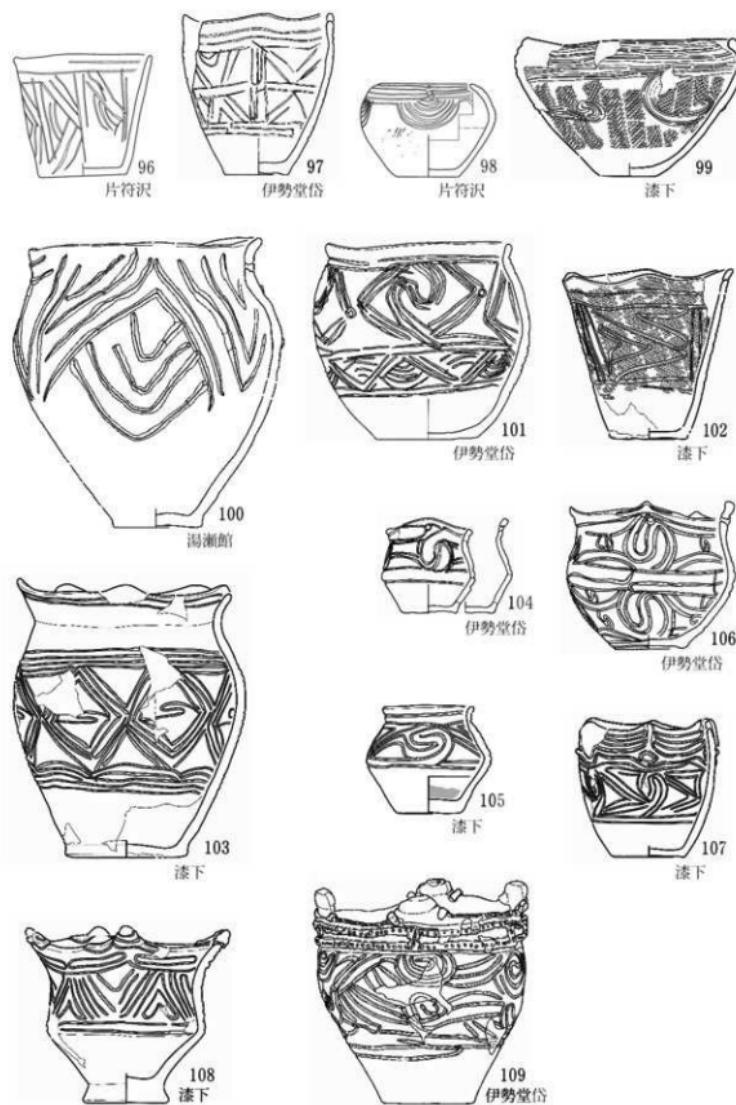
第17図 深鉢形土器17



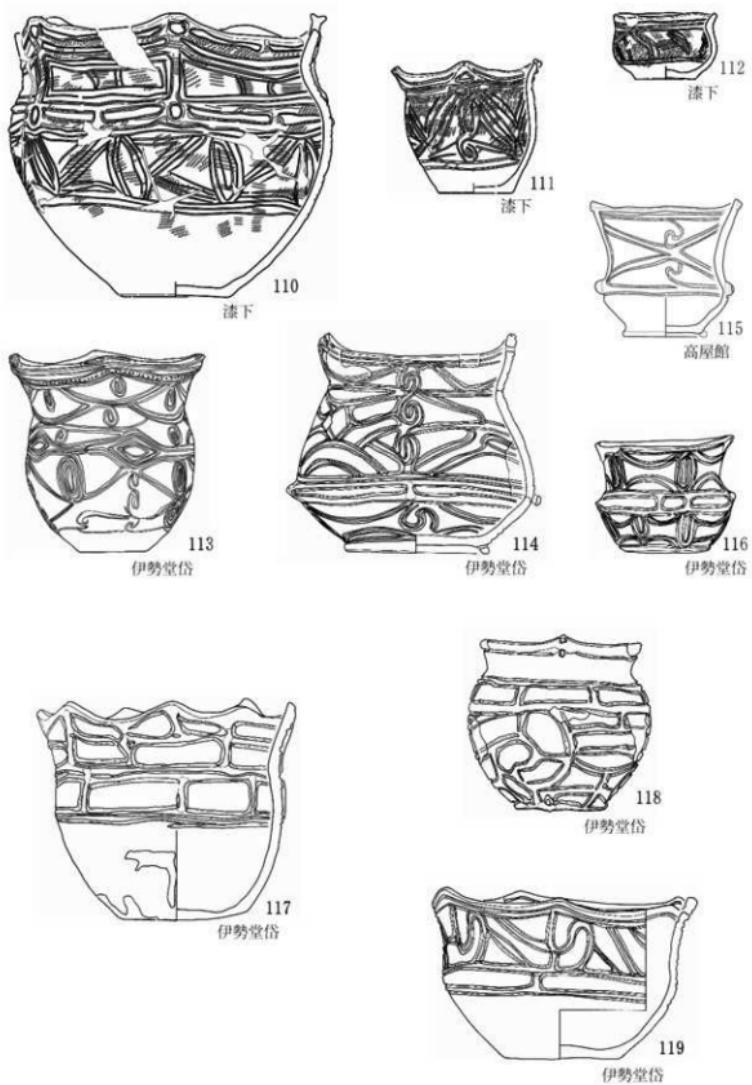
第18図 深鉢形土器18



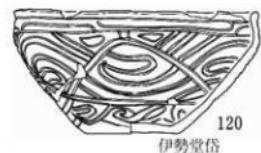
第19図 鉢形土器 1



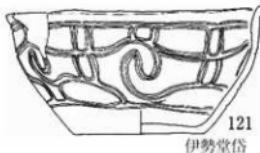
第20図 鉢形土器 2



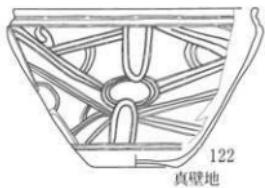
第21図 鉢形土器 3



120
伊勢堂岱



121
伊勢堂岱



122
真壁地



124



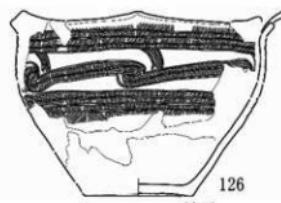
萩峰



123



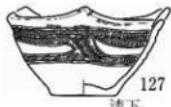
塚の下



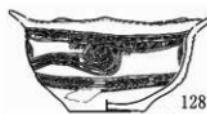
126
漆下



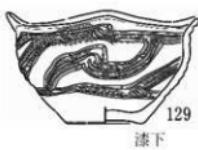
125
漆下



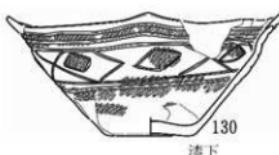
127
漆下



128
漆下

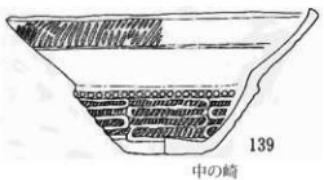
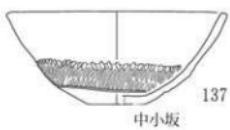
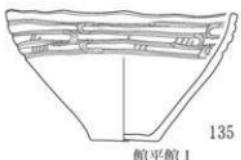
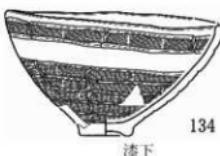
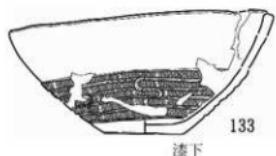
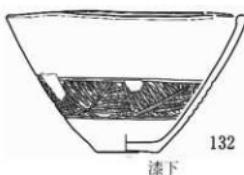
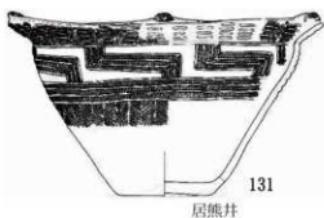


129
漆下

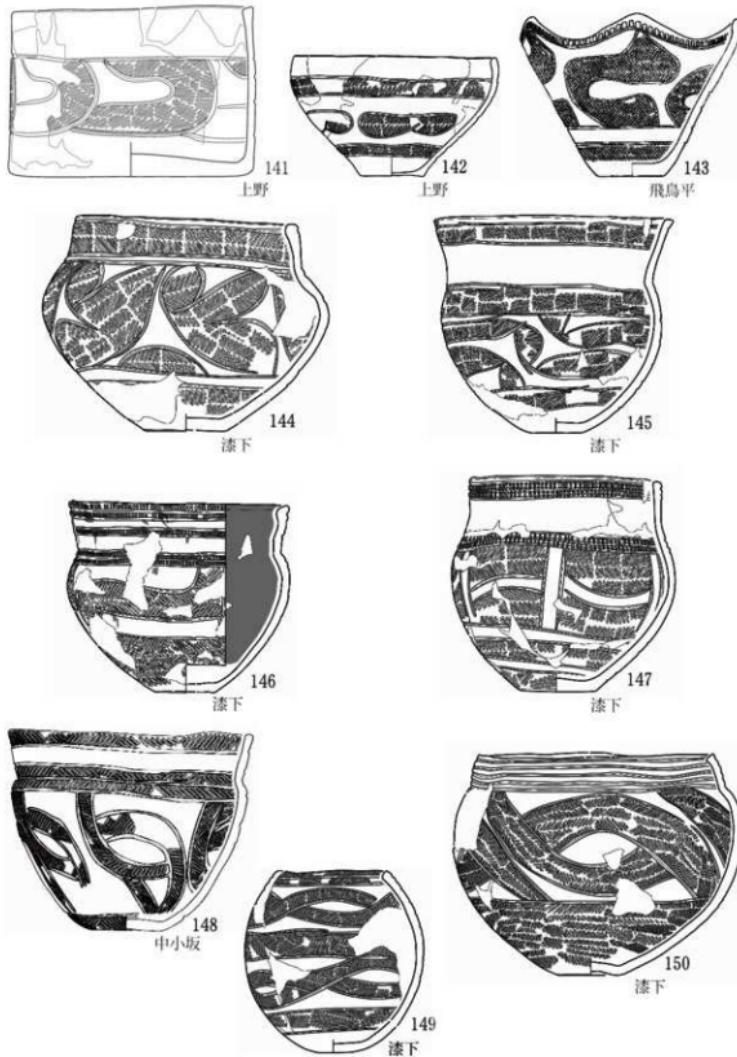


130
漆下

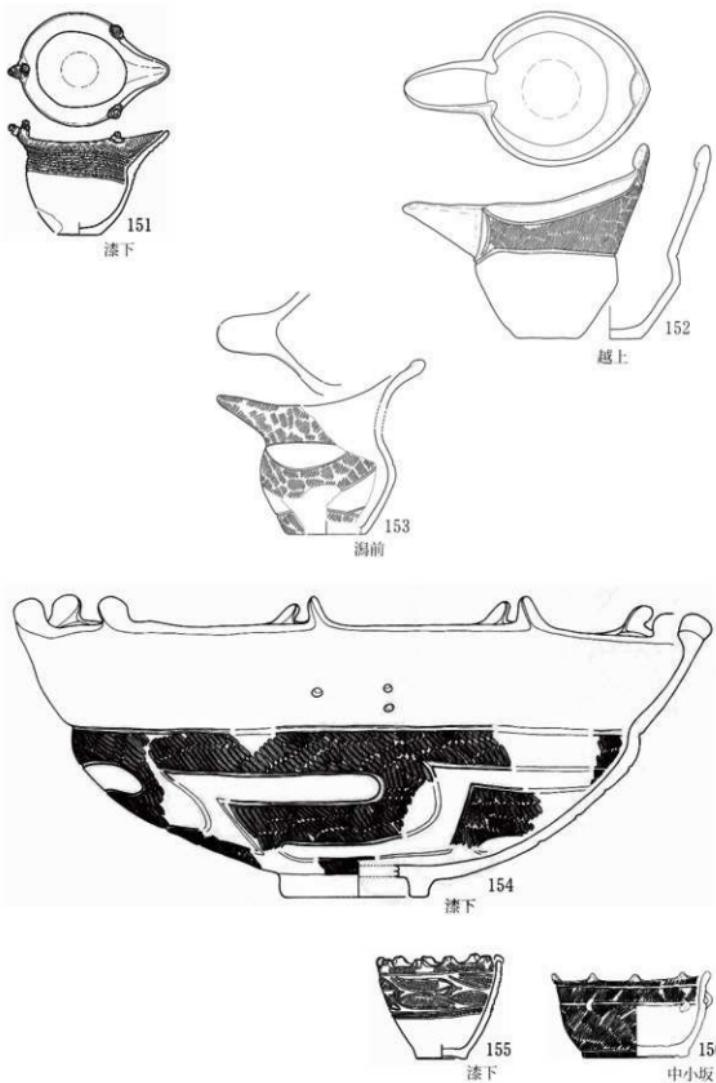
第22図 鉢形土器 4



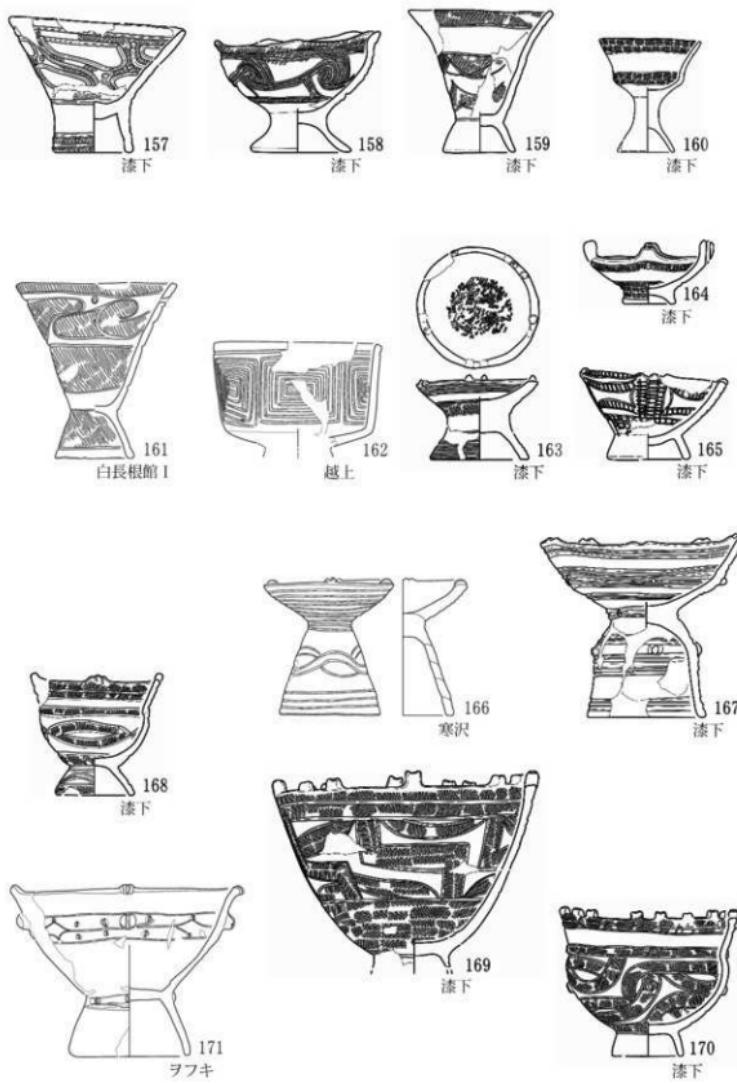
第23図 鉢形土器 5



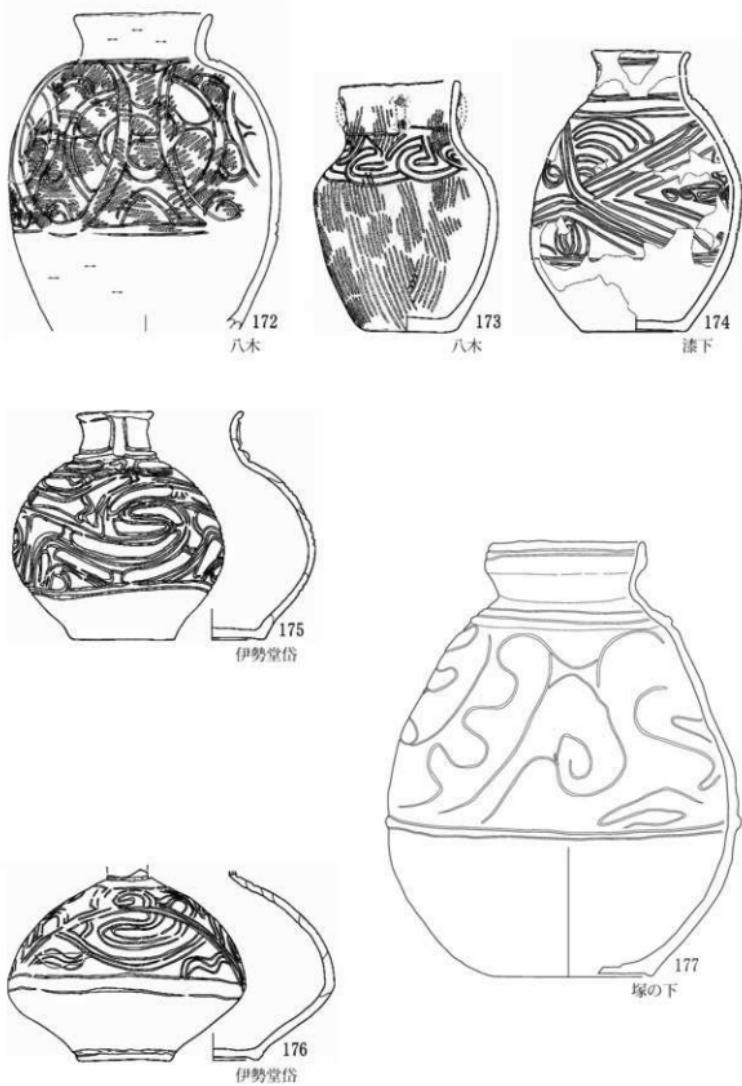
第24図 鉢形土器 6



第25図 鉢形土器 7



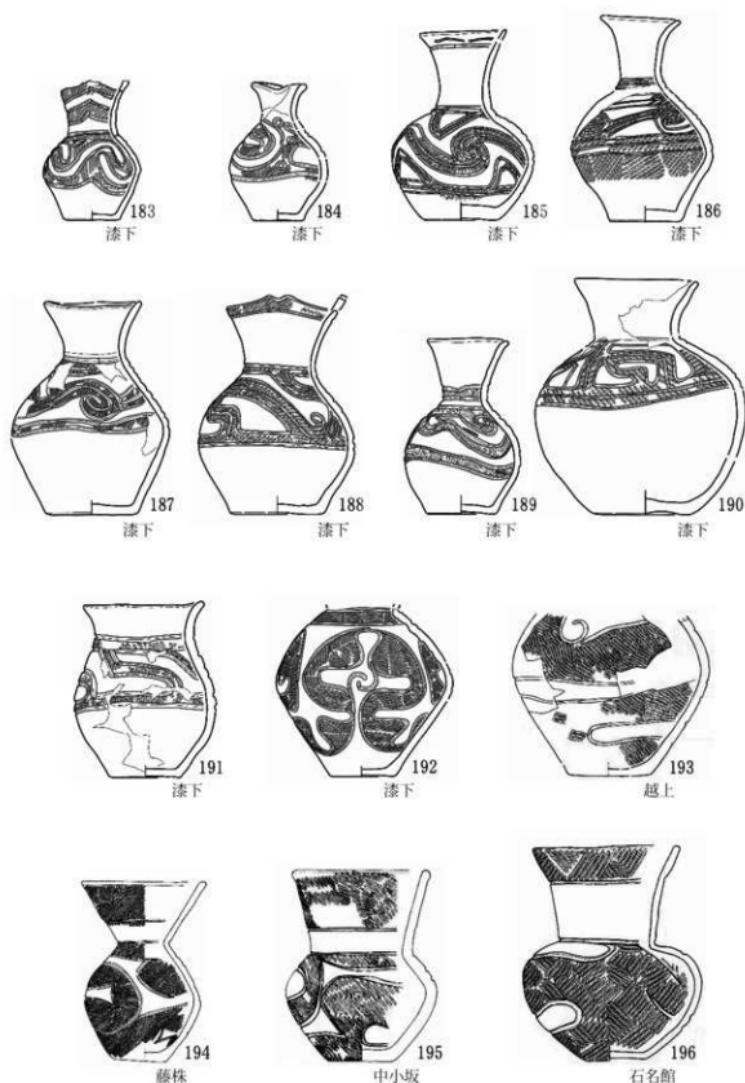
第26図 台付鉢形土器 1



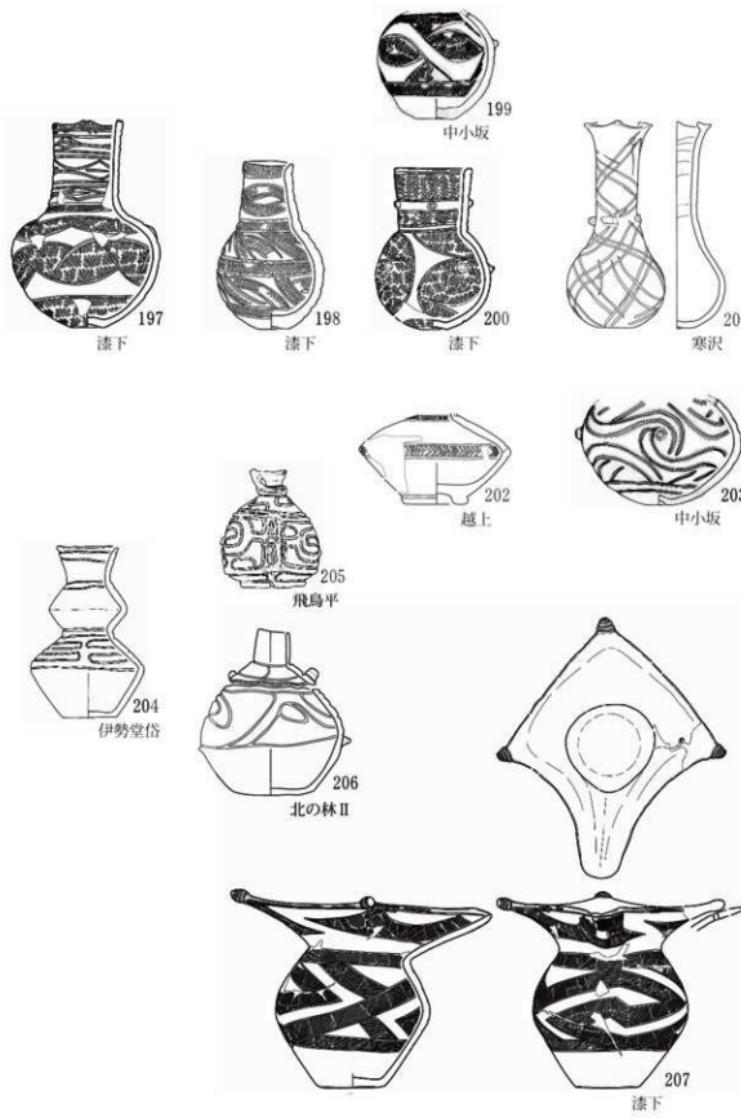
第27図 壺形土器 1



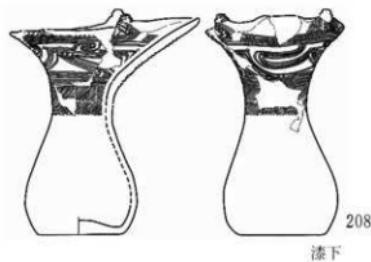
第28図 壺形土器 2



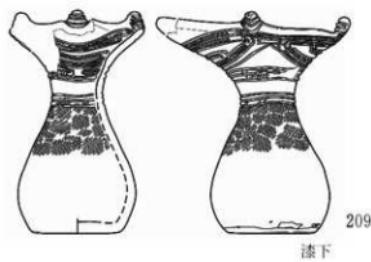
第29図 壺形土器 3



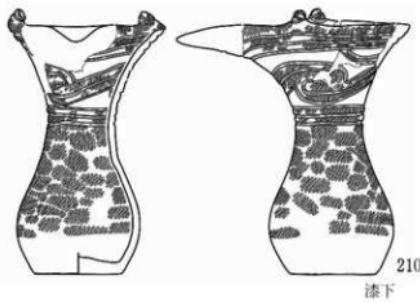
第30図 壺形土器 4



漆下

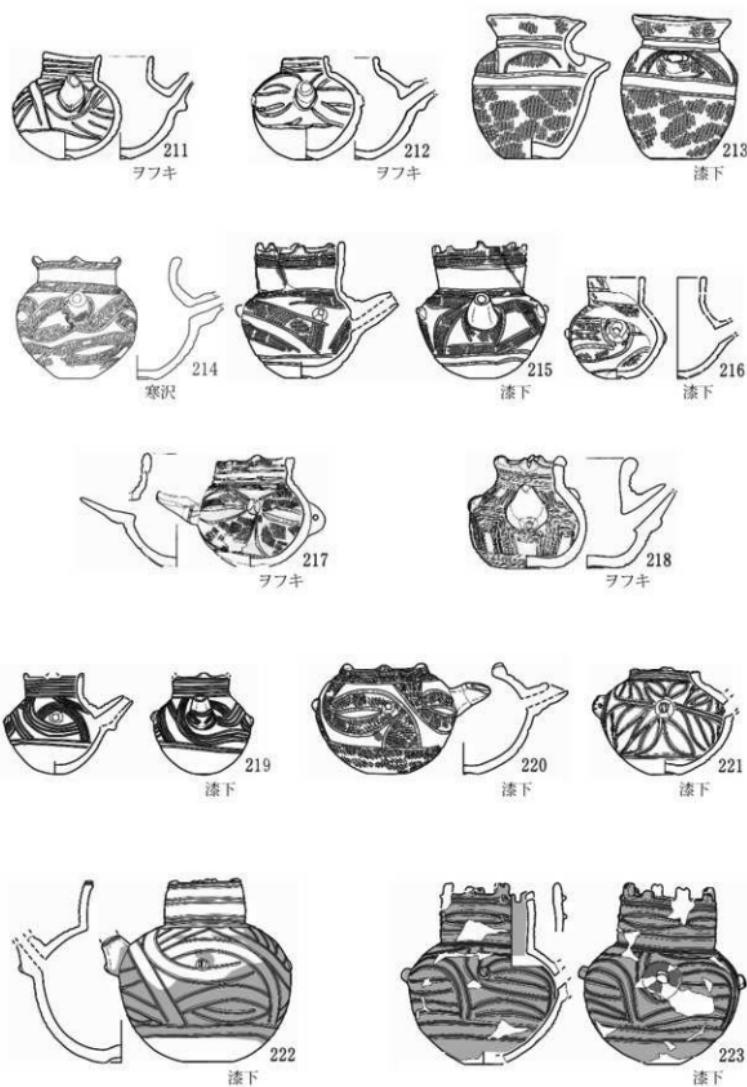


漆下

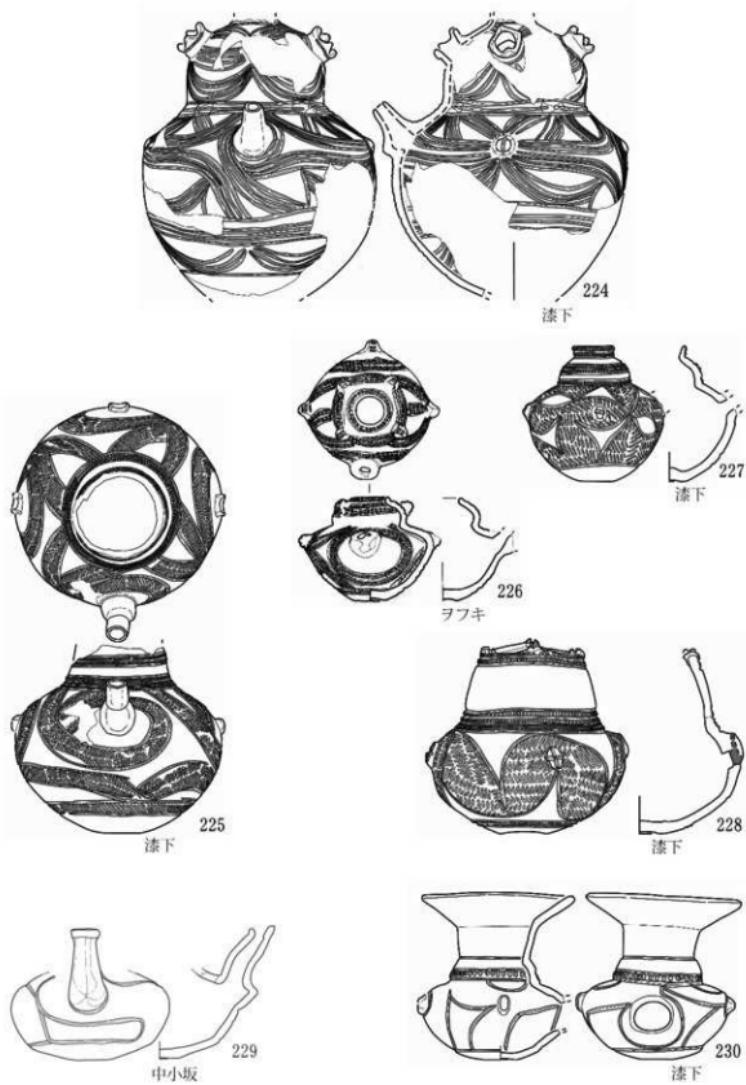


漆下

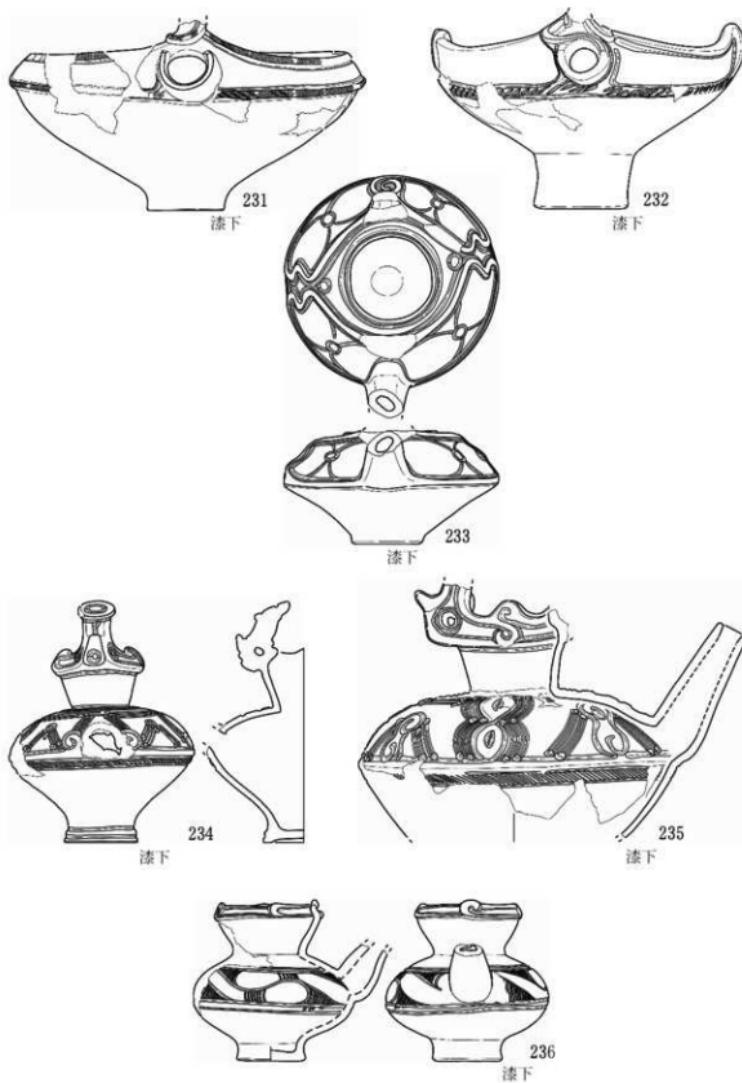
第31図 壺形土器 5



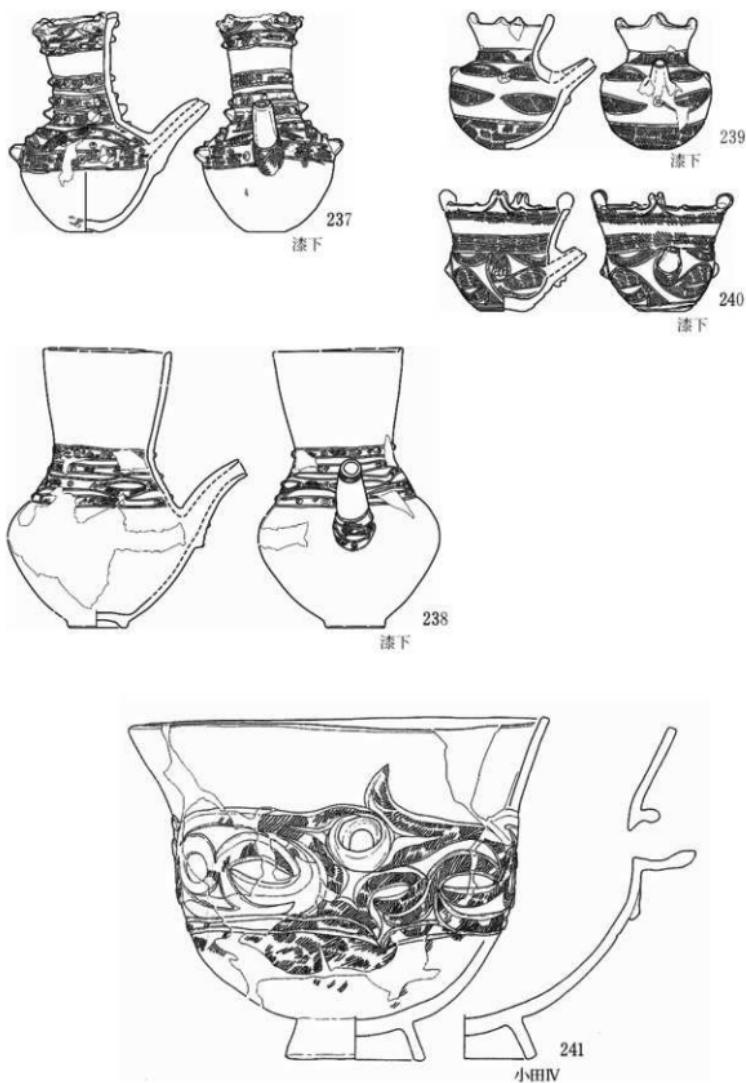
第32図 注口土器 1



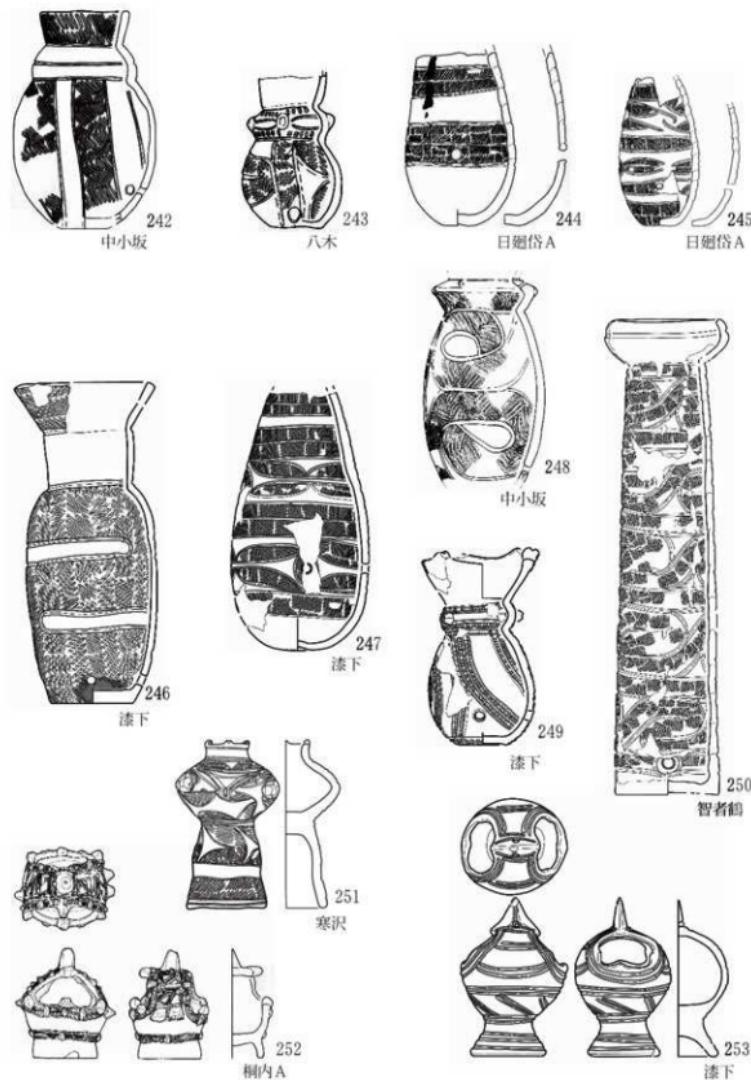
第33図 注口土器 2



第34図 注口土器 3



第35図 注口土器 4



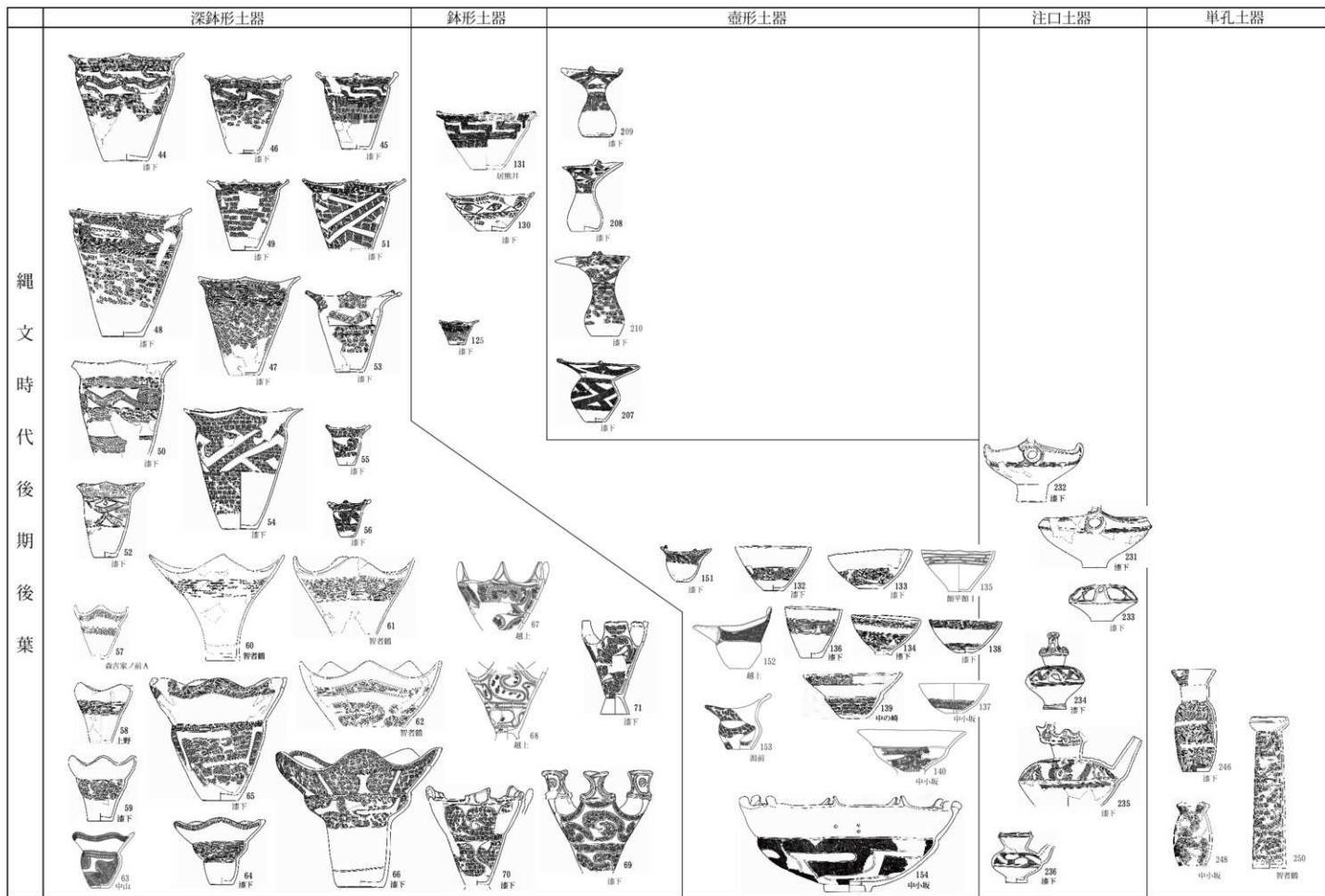
第36図 単孔土器 1・香炉形土器 1

	深鉢形土器	鉢形土器	壺形土器	
縄文時代後期前葉	<p>1 江頭 2 八木 3 江頭 4 白堀 5 江頭 6 越上 7 八木 8 江頭 9 八木 10 八木 11 八木 12 石丁 13 漆下 14 伊勢台 15 漆下</p>	<p>1 江頭 2 八木 3 江頭 4 八木 5 江頭 6 八木 7 八木 8 八木 9 八木 10 八木 11 八木 12 八木 13 漆下 14 伊勢台 15 漆下</p>	<p>1 江頭 2 八木 3 江頭 4 八木 5 江頭 6 八木 7 八木 8 八木 9 漆下 10 伊勢台 11 漆下 12 伊勢台 13 漆下 14 伊勢台 15 漆下</p>	

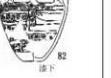
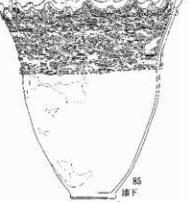
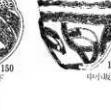
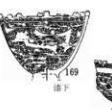
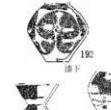
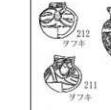
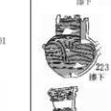
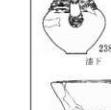
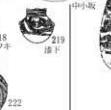
第37図 変遷模式図 1

縄文時代後期前葉	深鉢形土器	鉢形土器・台付鉢形土器	壺形土器
	<p>Dai-Sube (深鉢形土器): Figures 18, 19, 16, 17, 20, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 28, 29, 30, 31, 32, 33, 34, 35, 36, 37, 38, 39, 40, 41, 42, 43.</p> <p>Sube (鉢形土器): Figures 110, 111, 112, 101, 107, 108, 109, 113, 114, 115, 116, 117, 118, 119, 120, 121, 122, 123, 124, 125, 126, 128, 129, 130, 131, 132, 133, 134, 135, 136, 137, 138, 139, 140, 141, 142, 143, 144, 145, 146, 147, 148, 149, 150, 151, 152, 153, 154, 155, 156, 157, 158, 159, 160, 161, 162, 163, 164, 165, 166, 167, 168, 169, 170, 171, 172, 173, 174, 175, 176, 177, 178, 179, 180, 181, 182, 183, 184, 185, 186, 187, 188, 189, 190.</p>		

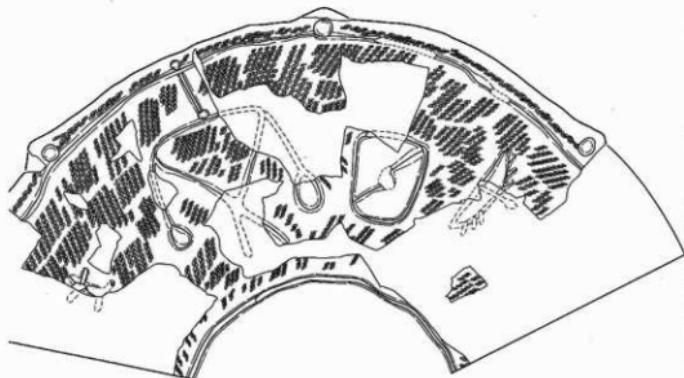
第38図 変遷模式図2

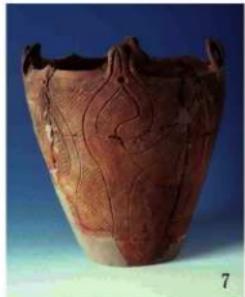


第39図 変遷模式図3

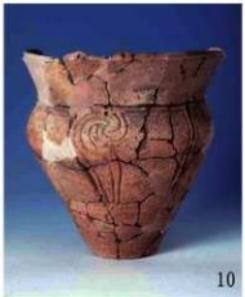
	深鉢形土器	鉢形土器・台付鉢形土器	壺形土器	注口土器	単孔土器	香炉
縄文時代後期後葉	 73 ツフキ  74 漆下  75 ツフキ  76 穴ノ内  77 漆下  78 漆下  79 漆下  80 漆下  81 漆下  82 漆下  83 穴ノ内  84 茄瘤付  85 漆下  86 石名附  87 漆下  88 漆下  89 漆下	 143 開底平  144 漆下  145 漆下  146 漆下  147 漆下  148 中小版  149 漆下  150 漆下  155 漆下  156 中小版  160 漆下  161 白口粗脚 I  162 漆上  163 漆下  164 漆下  165 漆下  166 寸足  167 漆下  168 漆下  169 漆下  170 漆下  171 ツフキ  172 漆下  173 漆下  174 漆下  175 漆下  176 漆下  177 越上  178 漆下  179 中小版  180 漆下  181 漆下  182 漆下  183 漆下  184 ツフキ  185 中小版  186 漆下  187 漆下  188 漆下  189 漆下  190 漆下  191 漆下  192 ツフキ  193 越上  194 漆下  195 中小版  196 石名附  197 漆下  198 漆下  199 中小版  200 漆下 201 漆下 202 漆上 203 漆下 204 漆下 205 漆下 206 漆下 207 漆下 208 漆下 209 漆下 210 漆下 211 ツフキ 212 漆下 213 漆下 214 漆下 215 漆下 216 漆下 217 ツフキ 218 ツフキ 219 漆下 220 漆下 221 漆下 222 漆下 223 漆下 224 漆下 225 漆下 226 漆下 227 漆下 228 漆下 229 漆下 230 漆下 231 漆下 232 漆下 233 漆下 234 漆下 235 漆下 236 漆下 237 漆下 238 漆下 239 漆下 240 漆下 241 小口IV	 253 漆下  254 紋内A  255 紹内A			

第40図 変遷模式図4





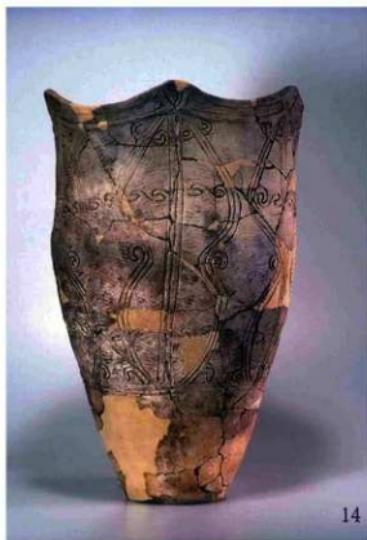
7



10



8



14



25



漆下



漆下



60



61



67



75



90



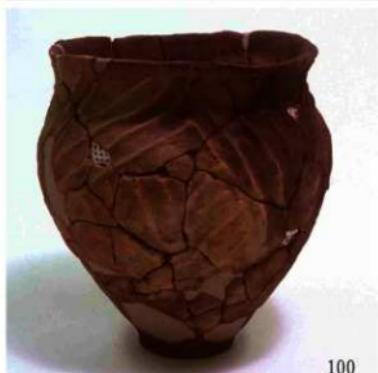
92



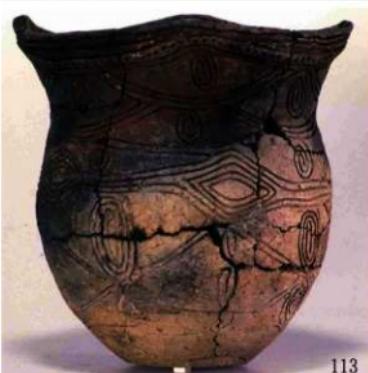
93



108



100



113



141



148



152



153



154



162



171



172



173



175



180



中小坂



196



204



212



218



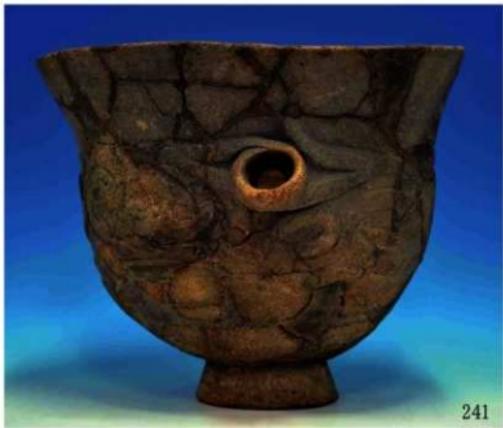
226



222



223



241



229



(229)



235



250



242



243



(241)

V 揭載土器一覧表

表 1 揭載土器一覧(1)

深鉢形土器

辨別番号	土器番号	遺跡名	双番号	辨別番号	出土場所・状況	口径	底径	器高	調査年	所在地	保管場所
1	1	八木遺跡	181	23-1	遺構外	15.9	(9.4)	(23.4)	1988	横手市	埋蔵文化財センター 北秋田市教委
	2			23-2	遺構外	26.9	(15.3)	(24.1)			
	3	江原岬1遺跡	310	86-8	SK1506底面直上	30.3	12.0	49.8	1998	横手市	
	4	口庭岬B遺跡	394	122-371	遺構外	21.8	9.3	(23.5)	2002	北秋田市	
	5	江原岬1遺跡	310	76-11	SK1308底面	25.8	(14.4)	(26.1)	1998	横手市	
2	6	越上遺跡	235	15-23	遺構外	25.5	(13.2)	(34.2)	1991	横手市	埋蔵文化財センター
	7	八木遺跡	181	24-4	遺構外	29.4	(15.0)	(33.8)			
	8	江原岬1遺跡	310	99-1	SR1441	36.0	13.8	51.0		横手市	
	9			24-1	遺構外	17.5	(8.8)	(29.3)	1988	横手市	
3	10	八木遺跡	181	31-1	遺構外	24.1	7.8	25.0			能代市
	11			34-2	遺構外	31.3	(20.0)	(34.7)			
	12	石ノ瀬遺跡	178	126-23	遺構外	29.1	10.3	36.4	1987		
4	13	漆下遺跡	464	334-12	ST01 114層	26.0	12.7	39.6	2001・2002・2006	北秋田市	北秋田市教委
	14	伊勢堂岱遺跡	293	160-1	遺構外	30.9	11.4	48.3	1995・1996	北秋田市	
	15	漆下遺跡	464	194-4	SI332	24.0	10.2	30.0	2001・2002・2006	北秋田市	
	16	寺内遺跡	349	47-101	遺構外	21.2	9.2	24.7	2001	北秋田市	
5	17	伊勢堂岱遺跡	293	160-2	遺構外	17.1	7.5	21.6	1995・1996	北秋田市	北秋田市教委
	18			431-12	ST01 344層	29.5	10.8	37.5			
	19	漆下遺跡	464	373-4	ST01 12層	11.5	5.2	13.4	2001・2002・2006	北秋田市	
	20	伊勢堂岱遺跡	293	166-8	遺構外	14.7	6.1	18.9	1995・1996	北秋田市	
6	21			108-3	遺構外	30.8	(20.0)	(28.4)			鹿角市
	22	高屋御跡	198	107-2	遺構外	26.7	(17.2)	(24.8)	1988・1989	鹿角市	
	23			108-2	遺構外	22.3	12.4	29.0			
7	24	伊勢堂岱遺跡	293	166-7	遺構外	12.3	4.8	12.9	1995・1996	北秋田市	北秋田市教委
	25	小坂遺跡	177	23-103	遺構外	17.5	8.8	22.5	1987	鹿角市小坂町	
	26	ヲフキ遺跡	352	29-196	SK91	12.6	5.5	11.4	2000	にかほ市	
	27	湯ノ川岱遺跡	273	8-1	SK51確認直下	13.7	7.0	14.7	1995	八峰町	
8	28			130-1	SX27	12.3	7.2	18.0			北秋田市教委
	29	伊勢堂岱遺跡	293	167-4	遺構外	22.2	(18.6)	8.7	23.7		
	30			373-11	ST01 12層	13.8	6.3	13.7			
	31			415-2	ST01 240層	12.3	5.5	13.0			
9	32	漆下遺跡	464	338-6	ST01 1層	17.1	7.2	15.4	2001・2002・2006	北秋田市	北秋田市教委
	33			373-10	ST01 2層	12.1	5.4	11.2			
	34			373-9	ST01 2層	10.3	5.3	10.2			
	35			367-7	ST01 1層	14.6	6.8	14.7			
10	36	伊勢堂岱遺跡	293	151-2	SK494	22.2	9.9	24.9	1995・1996	北秋田市	北秋田市教委
	37			409-3	ST01 201層	27.0	8.6	33.0	2001・2002・2006	北秋田市	
	38	漆下遺跡	464	333-11	ST01 106層・108層	28.0	10.0	24.5	2001・2002・2006	北秋田市	
	39	伊勢堂岱遺跡	293	145-1	SK282	31.5	12.3	44.7	1995・1996	北秋田市	
11	40			335-3	ST01 114層	18.3	9.4	22.0			北秋田市教委
	41			414-5	ST01 226層	21.5	10.5	27.8			
	42			335-4	ST01 114層	24.6	9.1	28.0			
	43			367-6	ST01 1層	21.7	10.8	25.0			
12	44			335-7	ST01 114層	29.8	11.2	27.7			北秋田市教委
	45			394-8	ST01 97層	21.2	7.4	19.9			
	46			335-6	ST01 114層	22.3	7.5	20.1			
	47			331-5	ST01 95層	26.3	7.5	25.4			
13	48	漆下遺跡	464	408-1	ST01 194層	31.4	10.4	33.0	2001・2002・2006	北秋田市	北秋田市教委
	49			305-23	ST01 6層	21.1	7.1	18.3			
	50			407-4	ST01 184層	26.8	—	(23.9)			
	51			422-1	ST01 286層	26.7	—	(18.0)			
14	52			326-6	ST01 56層	17.5	5.8	19.2			秋田市
	53			383-13	ST01 18層	24.0	7.0	20.7			
	54			499-4	ST404 1層	30.6	9.3	31.3			
	55			499-2	ST404 1層	11.0	4.2	10.3			
15	56			410-12	ST01 201層	11.2	3.5	9.7			埋蔵文化財センター
	57	森吉家／前八遺跡	453	42-2	SK5076理士中	14.0	(3.0)	13.8	2007		
	58	上野遺跡	295	10-7	S122	14.7	5.4	15.6	1997	秋田市	
	59	漆下遺跡	464	383-14	ST01 18層	17.4	6.3	16.8	2001・2002・2006	北秋田市	
16	60			31-1	遺構外	(35.2)	8.6	28.0			由利本荘市
	61	智者館遺跡	454	32-2	遺構外	(31.2)	—	—	2008・2009		
	62			34-1	遺構外	(37.2)	—	—			
	63	中山遺跡	246	26-8	S115	15.5	4.6	14.3	1993	大館市	
17	64			400-6	ST01 120層	23.2	5.8	17.2			大館市教委
	65	漆下遺跡	464	388-11	ST01 65層	35.1	8.9	31.5	2001・2002・2006	北秋田市	
	66			392-1	ST01 72層	42.0	11.5	36.0			

表 2 掘載土器一覧(2)

深鉢形土器

掛図番号	土器番号	道跡名	双書番号	神奈川番号	出土場所・状況	L1径	底径	器高	調査年	市町村名	保管場所
13	67	越上道跡	235	20-81	遺構外	22.2	(9.6)	(17.4)	1991	横手市	埋蔵文化財センター
	68			20-82	遺構外	(21.0)	(6.3)	(20.1)			
	69			500-1	ST040 1層	28.0	-	(25.8)			
	70	漆下道跡	464	511-16	遺構外	25.2	-	(25.5)			
14	71			320-6	ST01 45層	17.0	7.4	24.0	2001-2002・2006	北秋田市	北秋田市教委
	72	ヲフ牛道跡	352	59-559	遺構外	35.0	(5.1)	47.0			
	73			61-562	遺構外	31.2	-	(27.0)			
15	74	漆下道跡	464	369-12	ST01 1層	37.5	-	(28.8)	2001-2002・2006	北秋田市	北秋田市教委
	75	ヲフ牛道跡	352	58-558	遺構外	32.0	(5.7)	30.0			
	76	空ノ沢道跡	449	69-74	SK36底面	24.9	(9.6)	(21.9)			
	77			370-5	ST01 1層	14.5	5.0	11.8			
16	78			316-9	ST01 39層	14.8	5.7	13.2	2001-2002・2006	北秋田市	北秋田市教委
	79	漆下道跡	464	376-14	ST01 2層	13.2	3.9	10.7			
	80			376-13	ST01 2層	12.8	4.8	11.9			
	81			381-4	ST01 4層	16.0	5.4	15.2			
17	82			370-4	ST01 1層	16.0	4.5	15.5	2003-2004	潟沢市	埋蔵文化財センター
	83	艇ノ内道跡	432	159-8	SK546	31.8	-	(31.7)			
	84	昌留崎貝塚	371	30-237	河内数で採集	26.1	8.5	24.2			
	85	漆下道跡	464	270-1	SX07理土 中位～上位	44.4	10.8	48.9			
18	86	石名船道跡	112	9-43	遺構外	39.5	7.0	41.5	2001-2002・2006	美郷町	美郷町教委
	87			309-3	ST01 11層	30.5	6.6	28.6			
	88	漆下道跡	464	340-3	ST01 1層	15.8	3.5	13.5			
	89			269-10	SX07理土 中位～上位	33.6	7.5	32.4			

鉢形土器

掛図番号	土器番号	道跡名	双書番号	神奈川番号	出土場所・状況	L1径	底径	器高	調査年	市町村名	保管場所
19	90	江尻船1道跡	310	99-2	SR1441	26.4	3.9	13.5	1998	横手市	埋蔵文化財センター
	91			28-1	遺構外	25.6	13.1	10.6			
	92			28-2	遺構外	22.2	(10.3)	(11.3)			
	93	八木道跡	181	28-3	遺構外	25.0	8.8	15.6			
20	94			29-2	遺構外	25.9	10.3	13.6	1988	横手市	埋蔵文化財センター
	95			29-1	遺構外	31.3	8.3	11.3			
	96	片谷沢道跡1	72	57-14	-	11.4	7.2	10.0	1979	由利本荘市	由利本荘市教委
	97	伊勢堂岱道跡	293	154-6	SKP780	12.0	5.1	13.3			
21	98	片谷沢道跡2	72	57-16	-	7.8	5.2	7.6	1979	由利本荘市	由利本荘市教委
	99	漆下道跡	464	338-5	ST01 1層	17.0	4.6	11.4			
	100	潟湖船跡	462	9-6	遺構外	19.1	7.0	23.6	2009	鹿角市	埋蔵文化財センター
	101	伊勢堂岱道跡	293	152-3	SKF507	15.3	8.4	16.2			
22	102	漆下道跡	464	486-5	ST311 3層	14.0	6.2	14.0	2001-2002・2006	北秋田市	北秋田市教委
	103			424-2	ST101 300層	17.6	10.0	22.7			
	104	伊勢堂岱道跡	293	154-3	SN630	6.9	4.5	7.8			
	105	漆下道跡	464	431-4	ST101 343層	7.5	5.0	8.8			
21	106	伊勢堂岱道跡	293	138-4	SK142	13.5	5.7	12.0	1995-1996	北秋田市	北秋田市教委
	107	漆下道跡	464	431-3	ST101 343層	11.1	5.8	11.4			
	108			342-1	ST01	16.8	6.6	14.5			
	109	伊勢堂岱道跡	293	162-5	遺構外	17.4	7.5	18.3			
21	110			424-1	ST101 300層	24.5	8.6	23.3	1995-1996	北秋田市	北秋田市教委
	111	漆下道跡	464	334-9	ST01 114層	12.3	5.8	11.0			
	112			336-2	ST01 114層	8.4	4.9	5.5			
	113	伊勢堂岱道跡	293	131-1	SK28	15.9	5.7	16.8			
21	114			138-5	SK142	15.0	12.6	11.1	1998-1989	鹿角市	鹿角市教委
	115	高尾船跡	198	74-6	SK143底面から少し浮いた状態	11.8	6.6	11.2			
	116			135-3	SK104	11.4	6.0	9.9			
	117			142-1	SR174	21.3	6.9	18.3			
22	118	伊勢堂岱道跡	293	162-4	遺構外	13.2	8.6	7.2	1995-1996	北秋田市	北秋田市教委
	119			136-1	SX116	21.6	9.6	14.1			
	120			153-1	SK506	19.8	7.8	10.2			
	121			162-6	遺構外	21.0	10.8	10.5			
22	122	真幌地道跡	102	50-7	SK20 3～4層	20.1	7.5	13.2	1978-1979	能代市	埋蔵文化財センター
	123	塙の下道跡	61	38-1	遺構外	17.0	7.3	10.9			
	124	森野道跡	84	14-2	SK25	(23.6)	11.8	9.8			
	125			339-1	ST01 1層	10.2	4.0	6.3			
22	126			332-8	ST01 97層	22.5	8.8	15.2	2001-2002・2006	北秋田市	北秋田市教委
	127	漆下道跡	464	332-7	ST01 97層	12.9	5.2	7.2			
	128			395-5	ST01 100 99層	16.7	6.1	8.2			
	129			413-3	ST01 207層	15.8	6.2	9.8			
22	130			403-21	ST01 155層	22.8	7.0	10.1			

表3 掘載土器一覧(3)

鉢形土器

鉢形番号	土器番号	遺跡名	双書番号	柄回番号	出土場所・状況	口径	底径	器高	調査年	市町村名	保管場所
23	131	居熊井遺跡	78	44-10	SX (R) 001	25.8	7.8	15.0	1979	鹿角市	鹿角市教委
	132				399-8 ST101 110層	19.6	5.0	11.5			
	133	塗下遺跡	464	369-4	ST101 1層	21.7	6.4	10.2	2001-2002・2006	北秋田市	北秋田市教委
	134				311-7 ST101 20層	17.9	4.3	10.2			
	135	船平館I遺跡	120	5	SI01	19.0	5.7	10.7	1983	鹿角郡小坂町	小坂町教委
	136	塗下遺跡	464	383-10	ST101 15層	14.7	5.3	13.2	2001-2002・2006	北秋田市	北秋田市教委
	137	中小坂遺跡	177	6-5	SI11底面	18.1	4.7	7.5	1987	鹿角郡小坂町	埋蔵文化財センター
	138	塗下遺跡	464	391-7	ST101 71層	18.5	4.0	8.5	2001-2002・2006	北秋田市	北秋田市教委
	139	中の崎遺跡	103	123-3	道構外	25.0	7.1	11.5	1980-1981	鹿角市	
	140	中小坂遺跡	177	6-3	SI11覆土中	27.8	(6.9)	(11.6)	1987	鹿角郡小坂町	埋蔵文化財センター
24	141	上野遺跡	295	10-10	SE22	20.4	20.7	14.1	1997	秋田市	
	142		10-8	SE22		16.5	5.4	9.9			
	143	飛馬平遺跡	89	47	SK014底面	18.2	5.6	13.4	1980	鹿角市	鹿角市教委
	144		316-1	ST01	38層	18.2	6.6	17.7			
	145	塗下遺跡	464	315-1	ST01 33層	19.7	4.2	17.9	2001-2002・2006	北秋田市	北秋田市教委
	146		304-4	ST01	2層	18.1	4.9	15.6			
	147		311-8	ST01	20層	15.7	6.0	17.7			
25	148	中小坂遺跡	177	14-62	SI13覆土中	20.9	5.9	17.2	1987	鹿角郡小坂町	県立博物館
	149		319-4	ST01	41層	8.9	2.7	15.0			
	150	塗下遺跡	464	403-1	ST101 147層	19.2	5.2	18.3	2001-2002・2006	北秋田市	北秋田市教委
	151		397-7	ST101	163層	13.0	3.5	9.4			
	152	越上遺跡	235	19-67	ST01	19.8	5.1	16.2	1991	横手市	
26	153	湯前遺跡	306	52-405	道構外	16.2	6.3	14.2	1998	仙台市	埋蔵文化財センター
	154	中小坂遺跡	177	24-112	道構外	56.8	12.0	25.2	1987	鹿角郡小坂町	県立博物館
	155	塗下遺跡	464	370-12	ST101 1層	10.4	4.0	8.6	2001-2002・2006	北秋田市	北秋田市教委
	156	中小坂遺跡	177	14-65	SI13覆土中	13.4	9.1	7.2	1987	鹿角郡小坂町	埋蔵文化財センター
	157										
	158	塗下遺跡	464	425-18	ST101 300層	13.6	8.0	9.9	2001-2002・2006	北秋田市	北秋田市教委
	159		305-25	ST01	6層	11.9	6.0	11.7			
	160		498-2	ST404	1層	11.1	6.2	12.3			
	161	白良細印I遺跡	120	34-87	SI07	13.0	6.5	14.3	1983	鹿角郡小坂町	小坂町教委
	162	越上遺跡	235	21-95	ST01	13.8	(5.7)	(9.6)	1991	横手市	埋蔵文化財センター
27	163		331-2	ST01	91層	9.9	7.9	6.9			
	164	塗下遺跡	464	376-2	ST101 2層	10.7	4.1	5.2	2001-2002・2006	北秋田市	北秋田市教委
	165		340-5	ST01	1層	12.1	6.5	7.6			
	166	寒沢遺跡	254	25-35	SI01	10.4	8.1	11.5	1994	大館市	大館市教委
	167		386-7	ST101	44層	16.6	9.7	15.0			
	168	塗下遺跡	464	386-12	ST101 46層	10.0	6.4	9.9	2001-2002・2006	北秋田市	北秋田市教委
	169		376-17	ST101	2層	21.8	-	(16.0)			
	170		370-8	ST101	1層	14.0	5.8	12.2			
	171	ツフキ遺跡	352	71-608	道構外	19.0	(9.4)	14.0	1999	にかほ市	埋蔵文化財センター
	172										
28	173	八木遺跡	181	18-2	SK13底面直上面	11.2	(15.2)	(26.4)	1988	横手市	埋蔵文化財センター
	174	塗下遺跡	464	368-10	ST101 1層	8.0	8.5	23.0	2001-2002・2006	北秋田市	
	175	伊勢堂岱遺跡	293	148-2	SK406	4.2	5.6	12.4	1995-1996	北秋田市	北秋田市教委
	176		168-1	道構外	(2.2)	5.0	(10.4)				
	177	塚の下遺跡	61	68-155	道構外	13.8	13.5	37.3	1978-1979	大館市	大館市教委
	178	伊勢堂岱遺跡	293	172-5	道構外	5.7	6.6	16.8			
	179		179-3	道構外	10.5	9.9	25.2				
	180	真壁寺遺跡	102	50-11	SK104	11.4	10.2	24.0	1983	能代市	埋蔵文化財センター
	181		167-1	道構外	13.5	12.9	35.1				
	182	伊勢堂岱遺跡	293	144-3	SK282	11.7	13.5	36.6	1995-1996	北秋田市	
29	183		388-8	ST101	64層	-	4.6	(11.5)			
	184		433-10	ST101	360層	8.6	4.6	3.8	11.4		
	185		425-11	ST101	300層	7.1	6.0	15.6			
	186		419-8	ST101	201層	6.5	5.8	16.9			
	187	塗下遺跡	464	419-9	ST101 201層	8.0	7.5	17.5	2001-2002・2006	北秋田市	北秋田市教委
	188		336-7	ST01	114層	8.9	7.7	18.0			
	189		368-13	ST101	1層	6.1	5.5	14.3			
	190		368-11	ST101	1層	9.9	7.8	19.3			
	191		342-5	ST01		9.9	5.6	14.5			
	192		369-9	ST101	1層	-	5.2	(13.8)			
30	193	越上遺跡	235	19-59	道構外	(12.6)	6.9	(13.2)	1991	横手市	埋蔵文化財センター
	194	藤森遺跡	85	95-11	道構外	10.4	4.4	15.1	1980	北秋田市	北秋田市教委
	195	中小坂遺跡	177	25-117	道構外	11.9	5.6	16.3	1987	鹿角郡小坂町	埋蔵文化財センター
	196	石名館遺跡	138	15-1	道構外	11.3	4.6	16.5	1985-1986	美郷町	美郷町教委

表 4 掘載土器一覧(4)

壺形土器

埠岡番号	土器番号	遺跡名	双書番号	埠岡番号	出土場所・状況	L1径	底径	器高	調査年	市町村名	保管場所
30	197	津下遺跡	464	376-5 377-2	ST101 2層	5.6	2.5	16.9	2001・2002・2006	北秋田市	北秋田市教委
	198					4.1	2.3	13.6			
	199	中小山遺跡	177	14-63	SI13未面	(5.0)	3.8	(9.4)	1987	鹿角郡小坂町	埋蔵文化財センター
	200	津下遺跡	464	402-3	ST101 145層	6.2	2.4	13.2	2001・2002・2006	北秋田市	北秋田市教委
	201	寒沢遺跡	254	24-25	SI01	5.4	3.5	16.9	1994	大館市	大館市教委
	202	越上遺跡	235	21-94	ST01	(3.3)	5.1	(7.5)	1991	横手市	埋蔵文化財センター
	203	中小山遺跡	177	14-64	SI13覆土中	(9.4)	2.8	(9.4)	1987	鹿角郡小坂町	埋蔵文化財センター
	204	伊勢佐遺跡	293	168-2	遺構外	5.0	4.4	14.2	1995・1996	北秋田市	北秋田市教委
	205	飛鳥平遺跡	89	55	SK022	3.0	5.3	9.8	1987	鹿角郡小坂町	埋蔵文化財センター
	206	北の林且遺跡	99	110	遺構外	2.7	6.9	(13.9)	1980	鹿角市	鹿角市教委
31	207			408-6	ST101 194層	21.4	5.2	16.1			
	208	津下遺跡	464	338-2	ST01 150層	15.5	6.9	18.1	2001・2002・2006	北秋田市	北秋田市教委
	209			332-14		(14.0)	7.1	18.3			
	210			332-13	ST01 97層	(12.5)	7.0	(21.7)			

口付土器

埠岡番号	土器番号	遺跡名	双書番号	埠岡番号	出土場所・状況	L1径	底径	器高	調査年	市町村名	保管場所
32	211	ヲツキ遺跡	352	81-662 81-660	遺構外	4.6	1.4	8.7	2000	にかほ市	埋蔵文化財センター
	212					3.4	1.9	8.4			
	213	津下遺跡	464	468-2	ST202 1層	8.0	4.5	11.8	2001・2002・2006	北秋田市	北秋田市教委
	214	寒沢遺跡	254	31-1	SI03未面	7.3	3.1	10.0	1994	大館市	大館市教委
	215	津下遺跡	464	377-4	ST101 2層	7.7	2.3	11.1	2001・2002・2006	北秋田市	北秋田市教委
	216			381-1	ST101 4層	4.7	1.6	8.3			
	217	ヲツキ遺跡	352	82-668 82-669	遺構外	6.2	-	9.2	2000	にかほ市	埋蔵文化財センター
	218			82-669		4.2	4.1	5.3			
	219			377-6	ST101 2層	4.8	1.2	8.2			
	220			381-8		7.4	2.8	9.0			
33	221			381-10	ST101 4層	5.2	2.6	8.8			
	222	津下遺跡	464	381-9		5.9	4.0	14.9	2001・2002・2006	北秋田市	北秋田市教委
	223			321-3	ST01 45層	-	2.9	14.8			
	224			317-8	ST01 39層	-	-	(22.6)			
	225			316-5	ST01 38層	-	3.2	(15.1)			
	226	ヲツキ遺跡	352	82-671	遺構外	2.2	2.3	8.5	2000	にかほ市	埋蔵文化財センター
	227			317-6	ST01 39層	3.2	2.7	11.1	2001・2002・2006	北秋田市	北秋田市教委
	228			282-5	SKP1645	6.6	3.0	12.0			
	229	中小山遺跡	177	11-40	SI12土中	(6.9)	3.4	11.3	1987	鹿角郡小坂町	県立博物館
	230			387-2	ST101 47層	12.7	3.0	13.5			
34	231			324-6	ST01 49層	26.0	6.3	(15.6)			
	232			324-5	ST01 49層	25.6	7.8	17.2			
	233			324-7	ST01 49層	7.7	5.7	(9.3)			
	234			324-8	ST01 6層	4.4	6.0	19.7			
	235	津下遺跡	464	324-9	ST01 6層	-	-	20.8	2001・2002・2006	北秋田市	北秋田市教委
	236			324-10	ST01 45層	8.0	5.7	13.2			
	237			324-11	ST01 45層	7.2	2.8	18.0			
	238			324-12	ST01 11層	10.6	4.8	22.9			
	239			324-13	ST01	7.0	2.0	11.1			
	240			324-14	ST01 33層	11.6	3.9	9.9			
35	241	小川H遺跡	243	58-150	遺構外	33.8	11.1	27.6	1992	横手市	県立博物館

单孔土器

埠岡番号	土器番号	遺跡名	双書番号	埠岡番号	出土場所・状況	L1径	底径	器高	調査年	市町村名	保管場所
36	242	中小山遺跡	177	11-37	SI12土中	7.8	4.1	18.8	1987	鹿角郡小坂町	埋蔵文化財センター
	243	八木遺跡	181	42-2	遺構外	5.6	4.4	13.4	1988	横手市	埋蔵文化財センター
	244			45-60	遺構外	(6.6)	2.3	(14.1)			
	245	日魁岱A遺跡	335	45-61	遺構外	(3.6)	2.2	(12.3)	2000	北秋田市	北秋田市教委
	246	津下遺跡	464	399-16	ST101 112層	11.5	6.6	26.2	2001・2002・2006	北秋田市	北秋田市教委
	247			377-10	ST101 2層	-	2.0	(21.1)			
	248	中小山遺跡	177	6-7	SI11覆土中	(8.8)	(6.3)	(17.8)	1987	鹿角郡小坂町	県立博物館
	249	津下遺跡	464	399-15	ST101 112層	9.5	3.8	16.1	2001・2002・2006	北秋田市	北秋田市教委
	250	智者橋遺跡	454	42-12	遺構外	(8.8)	(8.4)	39.1	2008・2009	山形本荘市	埋蔵文化財センター

香炉形土器

埠岡番号	土器番号	遺跡名	双書番号	埠岡番号	出土場所・状況	L1径	底径	器高	調査年	市町村名	保管場所
36	251	寒沢遺跡	254	25-36	SI01未面	3.8	6.5	13.8	1994	大館市	大館市教委
	252	鰐内八遺跡	334	13-18	SI11多孔底土器内	-	5.1	8.9	1999・2000	北秋田市	北秋田市教委
	253	津下遺跡	464	382-3	ST101 4層	-	5.6	12.8	2001・2002・2006	北秋田市	北秋田市教委

秋田県埋蔵文化財基準資料
縄文時代土器集成 I(後期)

発行年月 平成25年3月

編集・発行 秋田県埋蔵文化財センター
〒014-0802
秋田県大仙市払田字牛嶋20番地
電話 0187-69-3331
FAX 0187-69-3330
URL [http://www.pref.akita.jp/
gakusyu/maibun_hp/index2.htm](http://www.pref.akita.jp/gakusyu/maibun_hp/index2.htm)
E-mail maibun@pref.akita.lg.jp

印 刷 株式会社 三森印刷